

令和7年度 男女双方の意識改革に係る調査 結果報告書

2025年9月1日

株式会社サーベイリサーチセンター
広島事務所

調査概要

調査概要.....	P.2
回答者プロフィール.....	P.4

調査結果の詳細

1.調査結果詳細

性別に関する意識の影響度.....	P.9
性の意識の影響された場面(プラスに影響された・計).....	P.11
性の意識の影響された場面(マイナスに影響された・計).....	P.12
性別に関する意識について、影響を与えた存在.....	P.13
男女の地位の平等感.....	P.14
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」への意見.....	P.16
賛成理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」.....	P.18
反対理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」.....	P.19
配偶者との役割分担.....	P.20
人権に関する活動や取組について.....	P.23
言葉の認識度.....	P.28
性的マイノリティについて.....	P.31

2.内閣府のデータ比較(全国と広島県の比較)

男女の地位の平等感 属性優遇.....	P.33
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」.....	P.37
賛成・反対理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」.....	P.41
配偶者との役割分担.....	P.45

調査目的	「わたらしい生き方応援プランひろしま」(広島県男女共同参画基本計画)において設定した成果指標「性別にかかわらず、働き方や暮らし方を自分らしく選択できていると感じている人の割合」の現状値を把握するとともに、今後事業を適切に実施していく参考とするため、県民の「性別に関する意識」や「男女共同参画に関する意識」等の状況を把握する。 ・Q4～Q8:内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査(令和6年9月調査)」		
調査対象	15 歳～69 歳の広島県在住の男女	【回収構成比 ※ウェイトバック集計後】	
調査方法	インターネット調査		
調査期間	2025年5月28日(水)～ 2025年6月17日(火)		
集計対象数	2,044件		

男性10代	77	女性10代	73
男性20代	164	女性20代	149
男性30代	172	女性30代	158
男性40代	207	女性40代	203
男性50代	233	女性50代	234
男性60代	181	女性60代	192
男性 計	1,034	女性 計	1,009
合計		2,044	

【注意事項】

- ・本文及び図中に示した調査結果の数値は百分率(%)で示してある。
- ・これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- ・複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ・また次ページに記載の通り、本調査では人口比に基づくウェイトバック集計を行い、報告書中の値はウェイトバック集計後の数値を掲載している。
- ・図表中の選択肢表記は一部省略している場合がある。

ウェイトバック集計

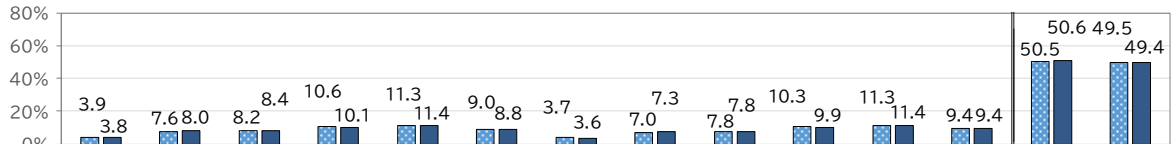
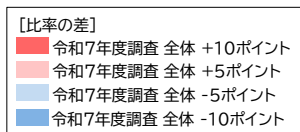
本調査では、「広島県人口移動統計調査」(令和7年4月1日現在)から算出した推計人口構成比に基づき、各性別年代に割付を設定した。ただし、有効回収数が不足したため、回答者の性別・年齢階層の偏りを補正するため、拡大係数を設定し、ウェイトバック集計を行った。
報告書中の値は、ウェイトバック集計後の値を掲載している。

	割付(推定母集団)				集計対象数				拡大係数	
	男性		女性		男性		女性		男性	女性
	人数	構成比①	人数	構成比②	人数	構成比③	人数	構成比④	①／③	②／④
10代	64,961	3.8%	62,022	3.6%	54	2.6%	93	4.5%	1.4249	0.7899
20代	138,849	8.0%	125,680	7.3%	175	8.6%	146	7.1%	0.9398	1.0196
30代	144,911	8.4%	133,789	7.8%	176	8.6%	155	7.6%	0.9752	1.0224
40代	175,084	10.1%	171,338	9.9%	210	10.3%	199	9.7%	0.9875	1.0198
50代	196,736	11.4%	197,405	11.4%	235	11.5%	229	11.2%	0.9916	1.0210
60代	152,565	8.8%	162,359	9.4%	184	9.0%	188	9.2%	0.9821	1.0229
計	873,106	50.6%	852,593	49.4%	1,034	50.6%	1,009	49.4%		
合計			1,725,699 (100%)		合計			2,044 (100%)		

(注1) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
(注2) 補正値は小数点以下を含んだ構成比から算出しており、小数点以下第5位で四捨五入している。

性年代

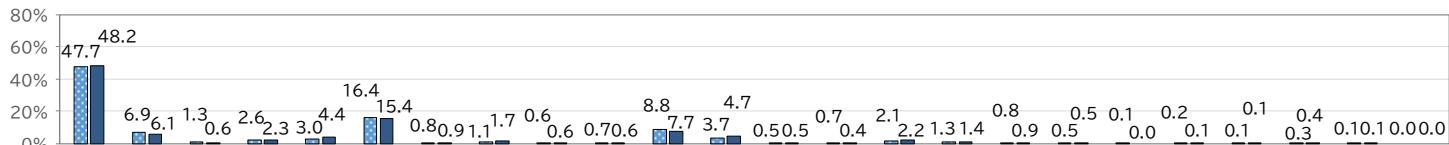
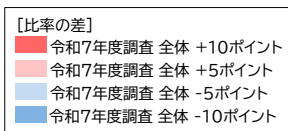
■令和6年度調査 全体 ■令和7年度調査 全体



		n	男性10代	男性20代	男性30代	男性40代	男性50代	男性60代	女性10代	女性20代	女性30代	女性40代	女性50代	女性60代	男性	女性
性別意識 の影響 ない選択	令和4年度調査 全体	(1,000)	1.5	9.9	8.4	11.1	10.3	9.1	3.6	7.1	8.1	10.9	10.4	9.6	50.3	49.7
	令和5年度調査 全体	(1,038)	3.8	8.1	8.6	10.8	10.6	8.8	3.6	7.3	8.0	10.5	10.7	9.3	50.6	49.4
	令和6年度調査 全体	(1,038)	3.9	7.6	8.2	10.6	11.3	9.0	3.7	7.0	7.8	10.3	11.3	9.4	50.5	49.5
	令和7年度調査 全体	(2,044)	3.8	8.0	8.4	10.1	11.4	8.8	3.6	7.3	7.8	9.9	11.4	9.4	50.6	49.4
	できている計	(1,185)	4.2	9.4	8.0	10.3	11.1	9.2	4.6	8.1	7.3	8.3	10.3	9.2	52.2	47.8
	できている	(422)	7.8	13.2	7.9	10.3	12.0	8.4	6.4	9.7	5.1	6.8	6.5	6.1	59.5	40.5
	どちらかというときでている	(763)	2.2	7.3	8.0	10.4	10.7	9.7	3.6	7.2	8.6	9.1	12.3	11.0	48.2	51.8
	できていない計	(609)	2.1	6.0	8.3	8.6	12.4	9.5	1.4	6.0	8.2	13.9	13.1	10.4	46.9	53.1
	あまりできていない	(451)	2.2	5.2	7.6	8.3	12.3	10.2	1.6	5.9	8.4	14.3	13.1	10.9	45.9	54.1
	できていない	(158)	1.8	8.3	10.5	9.4	12.5	7.4	1.0	6.4	7.8	12.9	12.9	9.1	49.9	50.1
わからない	(250)	5.7	6.8	10.5	13.0	10.3	5.5	4.1	6.5	8.6	8.2	13.1	7.8	51.8	48.2	

居住地(SC2)

■令和6年度調査 全体 ■令和7年度調査 全体

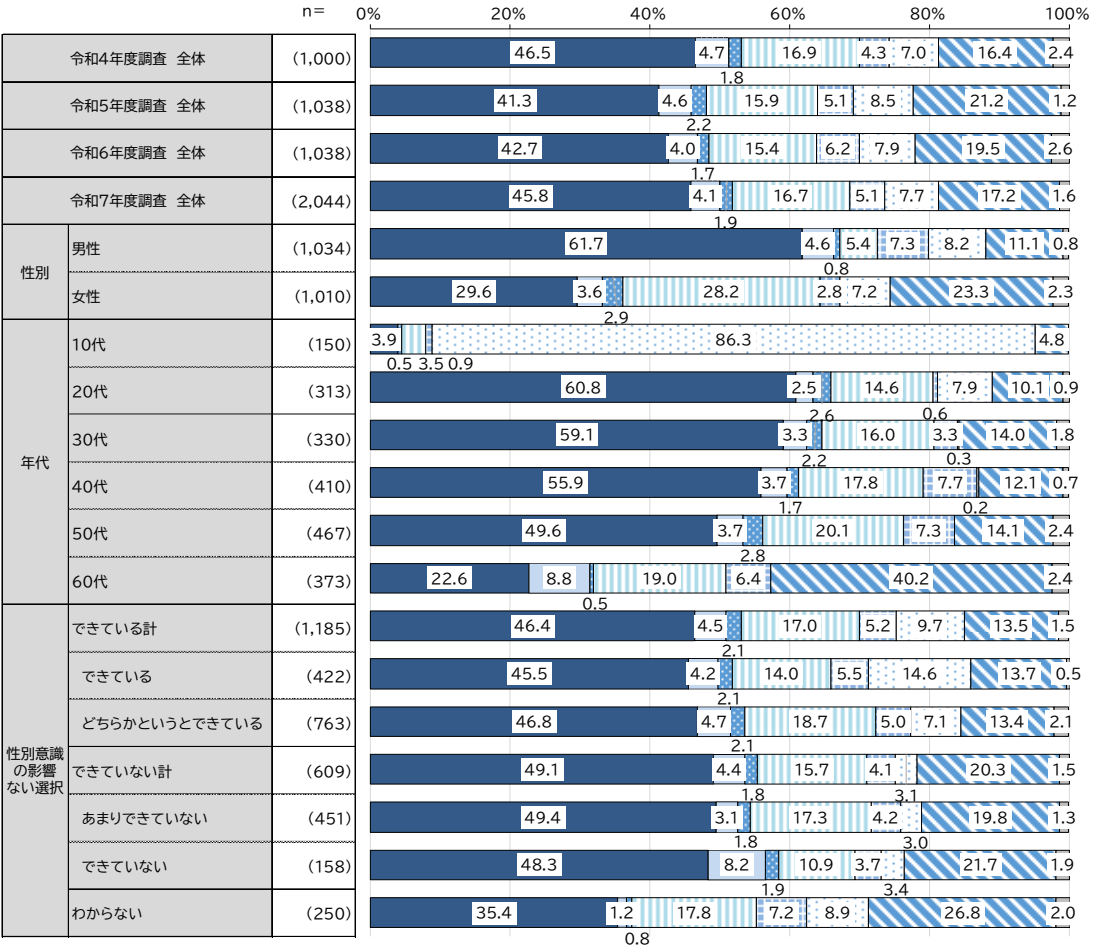


	n	広島市	呉市	竹原市	三原市	尾道市	福山市	府中市	三次市	庄原市	大竹市	東広島市	廿日市市	安芸高田市	江田島市	府中町	海田町	熊野町	坂町	安芸太田町	北広島町	大崎上島町	世羅町	神石高原町	その他
令和4年度調査 全体	(1,000)	50.1	5.6	1.0	2.2	2.7	15.1	0.8	1.1	1.0	0.9	7.2	5.7	0.3	0.3	2.8	0.9	1.0	0.5	0.1	0.4	0.1	0.2	0.0	0.0
令和5年度調査 全体	(1,038)	49.4	7.4	1.0	2.8	3.4	14.4	0.8	1.0	0.9	0.5	9.2	4.3	0.5	0.4	1.6	1.0	0.7	0.2	0.1	0.3	0.1	0.2	0.1	0.0
令和6年度調査 全体	(1,038)	47.7	6.9	1.3	2.6	3.0	16.4	0.8	1.1	0.6	0.7	8.8	3.7	0.5	0.7	2.1	1.3	0.8	0.5	0.1	0.2	0.1	0.3	0.1	0.0
令和7年度調査 全体	(2,044)	48.2	6.1	0.6	2.3	4.4	15.4	0.9	1.7	0.6	0.6	7.7	4.7	0.5	0.4	2.2	1.4	0.9	0.5	0.0	0.1	0.1	0.4	0.1	0.0
性別	男性	(1,034)	46.9	5.7	0.6	2.6	4.4	16.3	1.1	1.6	0.7	8.0	4.9	0.3	0.3	2.7	1.5	0.8	0.3	0.0	0.2	0.1	0.2	0.0	0.0
	女性	(1,010)	49.5	6.6	0.7	2.1	4.5	14.5	0.7	1.9	0.5	7.3	4.4	0.8	0.5	1.7	1.3	1.0	0.8	0.1	0.0	0.2	0.6	0.2	0.0
年代	10代	(150)	41.3	7.4	0.0	2.1	6.3	17.8	2.9	2.5	0.5	7.0	3.4	2.1	0.0	0.5	0.0	2.0	1.1	0.0	0.9	0.0	0.5	1.1	0.0
	20代	(313)	47.4	5.6	0.3	2.9	3.8	14.2	0.6	0.6	0.3	10.6	5.0	0.3	0.6	2.5	3.7	0.3	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	(330)	42.3	3.6	0.3	3.6	2.7	15.4	0.6	1.8	0.6	10.5	8.1	0.3	0.6	3.9	2.7	1.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
	40代	(410)	51.3	5.9	1.0	2.2	5.6	17.1	0.2	2.2	0.5	6.1	2.2	0.2	0.0	1.7	0.5	1.0	0.7	0.2	0.2	0.0	0.5	0.0	0.0
	50代	(467)	51.3	6.3	1.1	2.4	5.4	14.6	1.1	1.7	0.2	6.5	3.2	0.6	0.4	1.9	0.7	0.6	0.4	0.0	0.0	0.4	0.7	0.0	0.0
	60代	(373)	49.5	8.4	0.5	1.1	3.2	14.8	1.1	1.6	1.1	6.2	6.5	0.5	0.5	2.1	0.8	0.8	0.3	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0
性別意識の影響 ない選択	できている計	(1,185)	50.7	5.2	0.4	1.9	4.2	15.5	0.9	1.3	0.5	7.9	4.5	0.5	0.3	2.6	1.4	0.8	0.5	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0
	できている	(422)	54.4	4.1	0.5	2.0	3.9	12.0	0.7	2.1	0.2	8.4	5.4	0.4	0.7	2.3	1.4	0.6	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
	どちらかというときてている	(763)	48.7	5.8	0.4	1.8	4.3	17.4	1.0	0.9	0.7	7.6	4.1	0.6	0.0	2.7	1.4	0.9	0.8	0.1	0.2	0.0	0.2	0.1	0.0
	できていない計	(609)	44.1	7.6	0.7	3.0	5.1	16.7	1.1	2.3	0.6	6.4	5.4	0.5	0.7	1.8	1.5	1.0	0.5	0.0	0.2	0.2	0.3	0.0	0.0
	あまりできていない	(451)	42.3	6.6	0.7	3.1	4.9	18.6	0.9	2.7	0.7	6.2	5.5	0.5	0.7	2.2	1.7	1.1	0.7	0.0	0.2	0.2	0.4	0.0	0.0
	できていない	(158)	49.1	10.6	0.6	2.6	5.7	11.4	1.7	1.2	0.6	6.8	5.1	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	(250)	46.2	6.9	1.6	3.1	4.1	11.9	0.4	1.9	0.8	9.7	3.6	0.8	0.4	1.6	1.2	1.0	0.7	0.0	0.0	0.4	1.6	0.0	0.0

就業状況・形態(Q15)

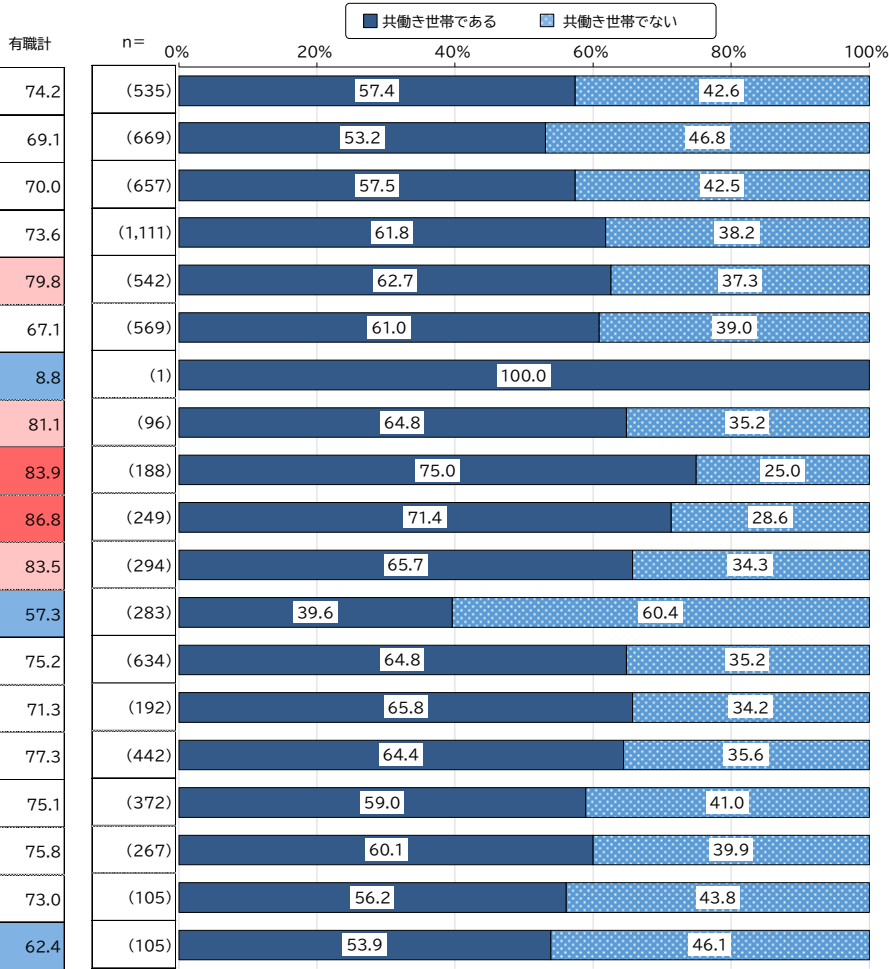
[比率の差]
 令和7年度調査 全体 +10ポイント
 令和7年度調査 全体 +5ポイント
 令和7年度調査 全体 -5ポイント
 令和7年度調査 全体 -10ポイント

■ 正社員・正職員 ■ 契約社員・契約職員・嘱託 ■ 派遣社員 ■ パート・アルバイト ■ 自営業 ■ 学生 ■ 無職 ■ その他



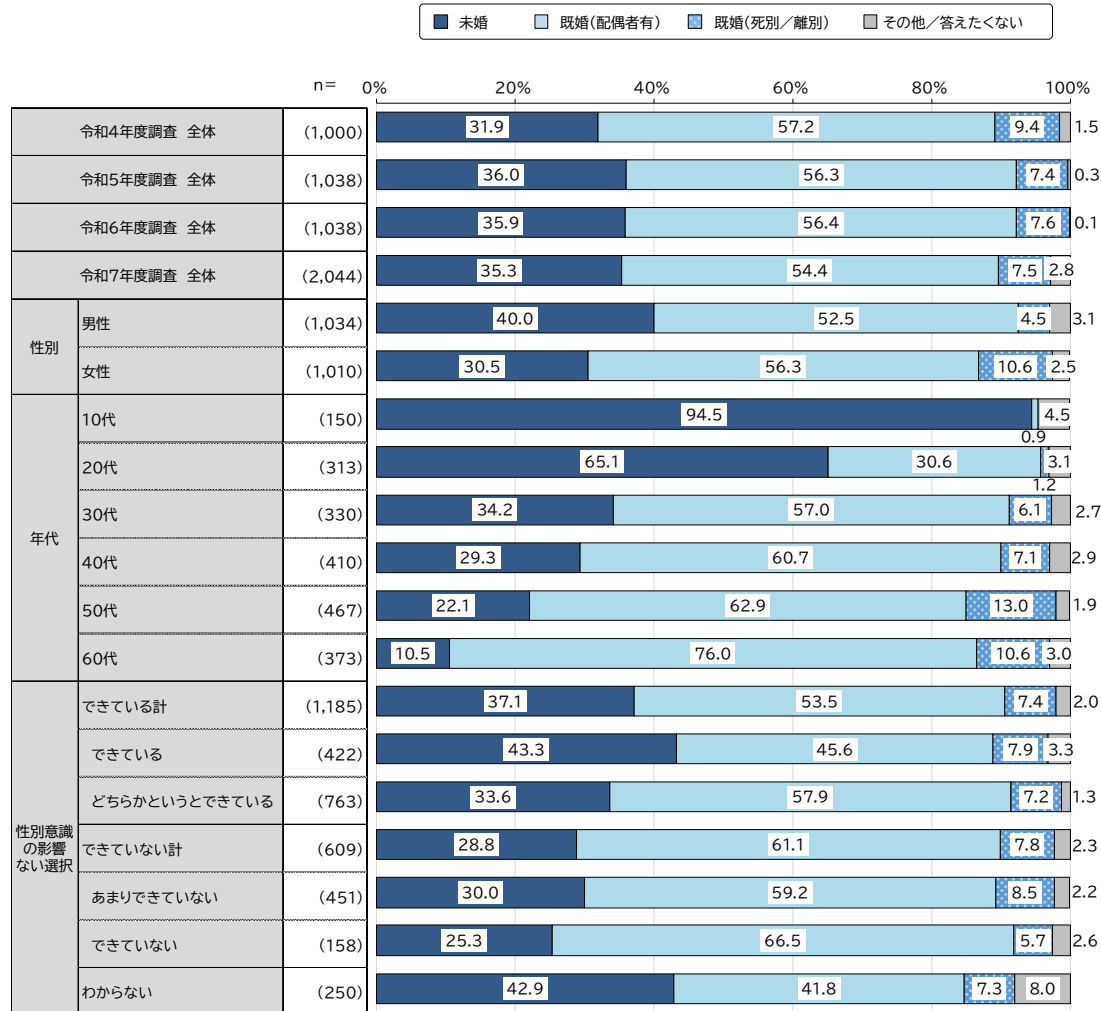
共働きの有無(Q13)

※婚姻状況で「既婚」選択者ベース

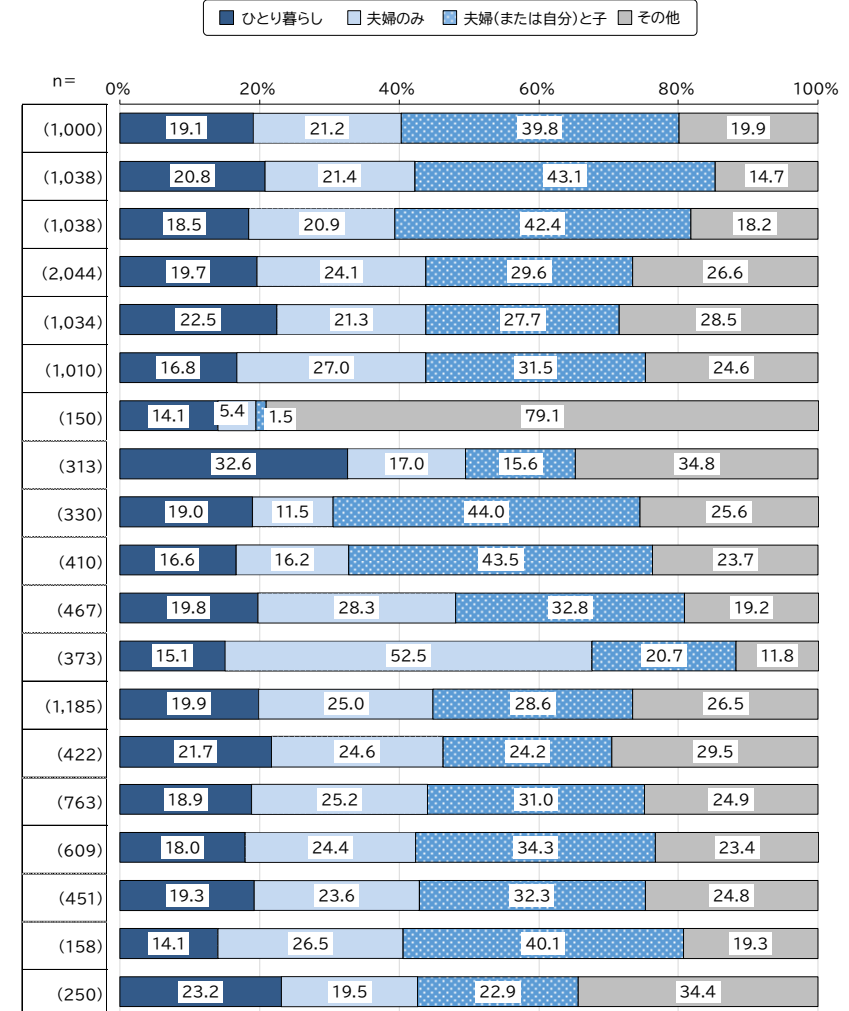


※有職計: 「正社員・正職員」～「自営業」
 ※令和7年度は「正職員」選択肢なし
 ※「自営業」: 令和7年度は「起業・自営・家族従業」

婚姻状況(Q13)



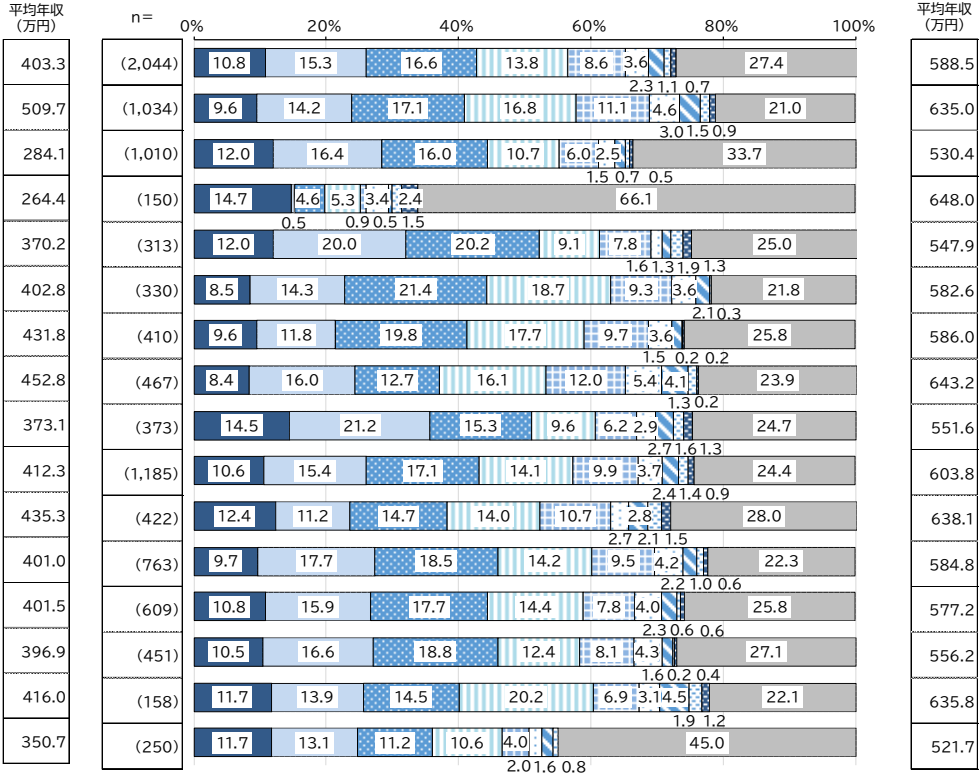
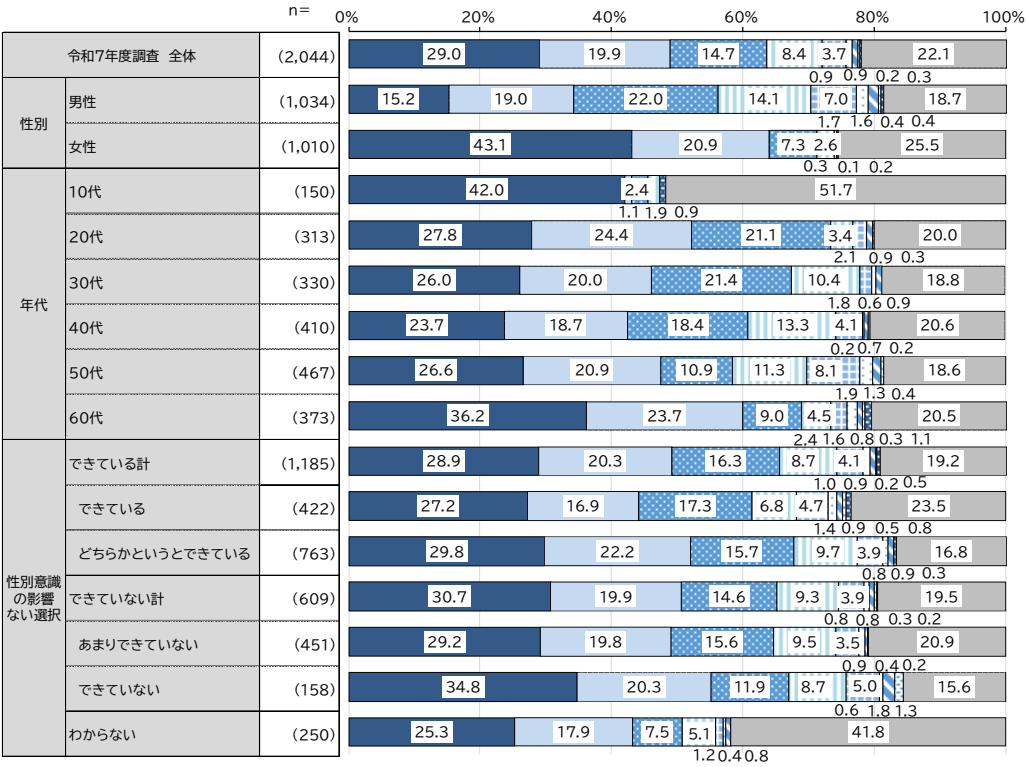
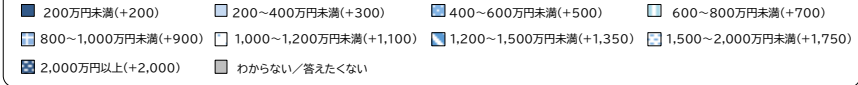
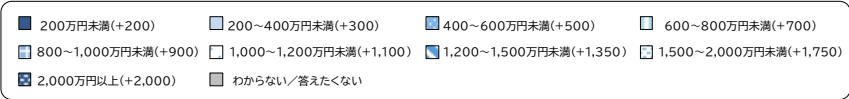
世帯構成(Q14)



※夫婦のみ: 令和7年度は「配偶者・パートナー」
 ※夫婦(または自分)と子: 令和7年度は「配偶者・パートナー」+「ご自身の子ども」

個人年収(Q17)

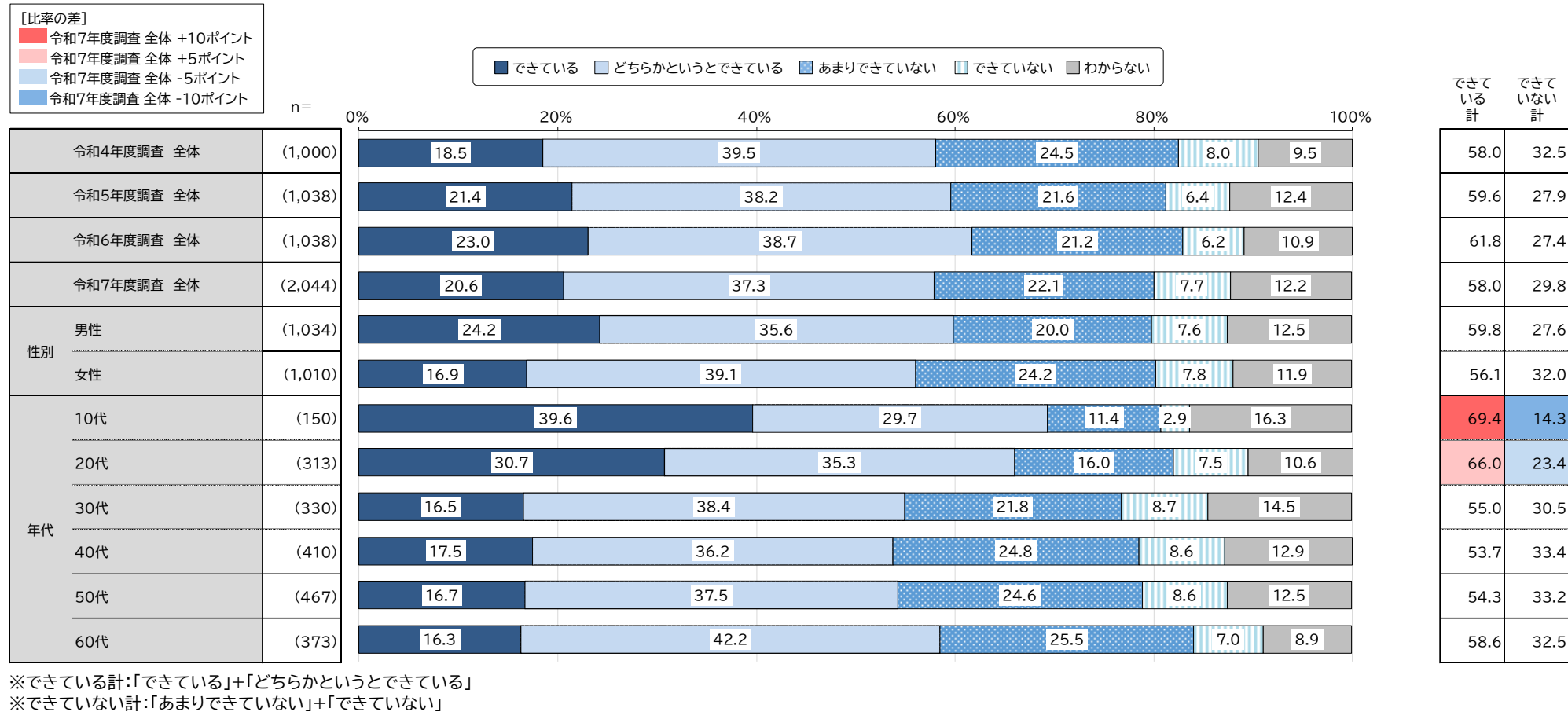
世帯収入(Q17)



1.調査結果詳細

性別に関する意識の影響度

- 『性別に関する意識に影響されることなく、働き方や暮らし方を選択できている人』は58%で、令和6年度調査と比較して4pt低い。
- 女性の『できている計』は56%と男性と比べて4pt低い。
- 年代別でみると、10代～20代において『できている計』が、他世代と比較して高い。



Q1 あなたは、現在、『男だから』あるいは『女だから』〇〇すべきといったような、性別に関する意識に影響されることなく、働き方や暮らし方を選択できていると感じますか。当てはまるものを1つだけ選んでください。(SA)

性別に関する意識の影響度×週当たりの平均労働時間×性別

- 週当たりの平均労働時間でみると、男性の平均労働時間が長くなるほど、『性別意識の影響できている計』割合が低くなる傾向にある。他方、女性については、「29時間未満」、「50時間以上」の場合、『性別意識の影響できている計』が全体より高い。

		n	性別意識の影響 できている計	性別意識の影響 できていない計	性別意識の影響 わからない計
[比率の差]					
令和7年度調査 全体 +10ポイント					
令和7年度調査 全体 +5ポイント					
令和7年度調査 全体 -5ポイント					
令和7年度調査 全体 -10ポイント					
広島県全体		(2,044)	58.0	29.8	12.2
広島県男性全体		(835)	60.5	28.7	10.8
週当たりの平均労働時間 (残業時間を含む)	29時間以下	(138)	65.8	24.9	9.2
	30-49時間	(502)	62.8	29.1	8.1
	50時間以上	(132)	56.3	32.7	11.1
	わからない	(63)	39.2	25.9	34.8
広島県女性全体		(702)	57.6	32.3	10.1
週当たりの平均労働時間 (残業時間を含む)	29時間以下	(289)	63.9	27.6	8.5
	30-49時間	(307)	54.8	35.2	10.0
	50時間以上	(44)	65.1	32.6	2.3
	わからない	(63)	37.1	39.1	23.7

※Q15 就労形態で「学生」、「無職」と回答した人を除く

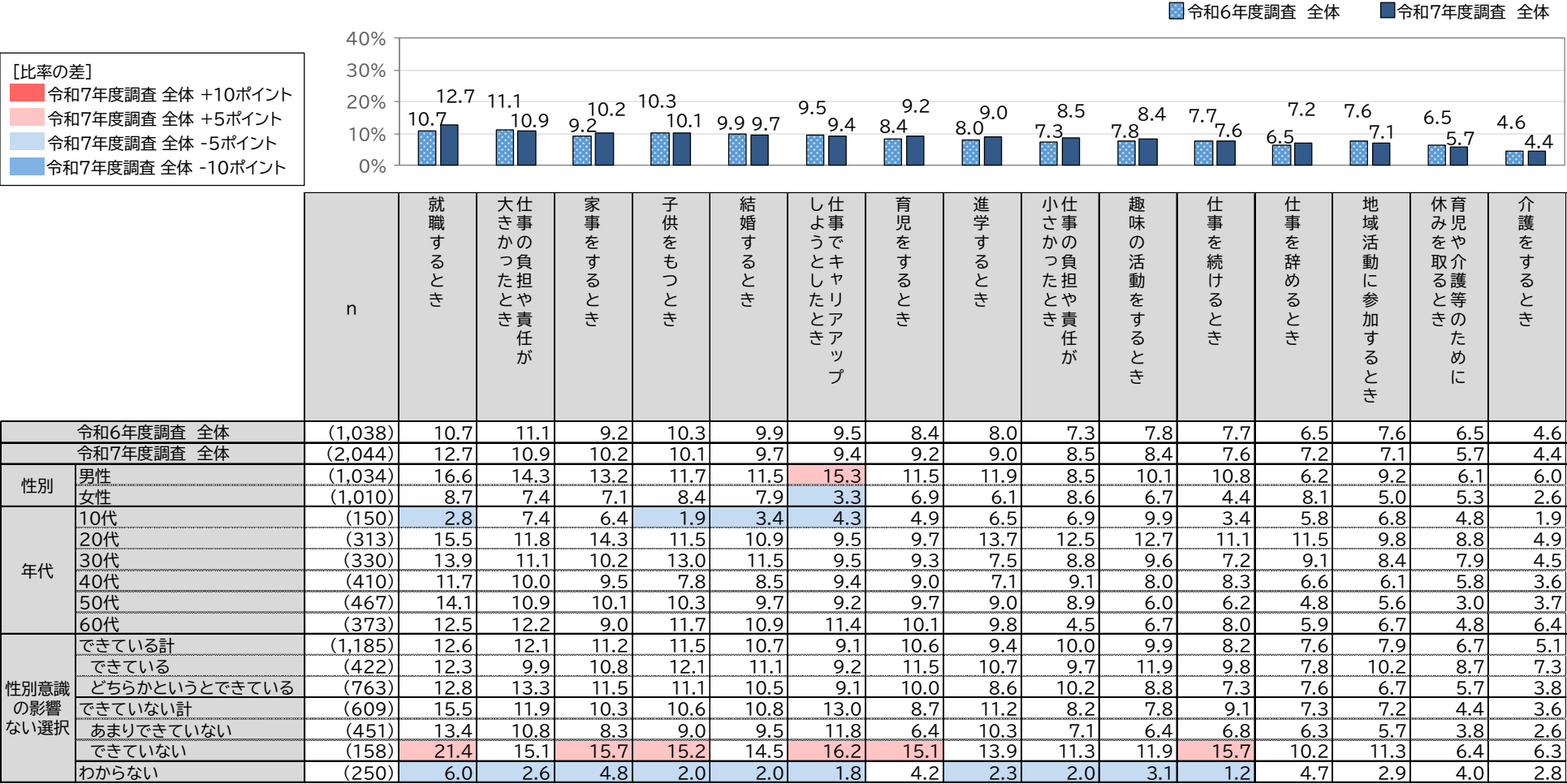
※性別意識の影響できている計:「できている」+「どちらかというときていいる」

※性別意識の影響できていない計:「あまりできていない」+「できていない」

Q1 あなたは、現在、『男だから』あるいは『女だから』〇〇すべきといったような、性別に関する意識に影響されことなく、働き方や暮らし方を選択できていると感じますか。当てはまるものを1つだけ選んでください。(SA)

性別の意識に影響された場面(プラスに影響された・計)

- 性別に関する意識について、プラスに影響された場面では「就職するとき」が最も高く、次いで、「仕事の負担や責任が大きかったとき」、「家事をするとき」などの順となっている。各項目でスコア差は小さく、分散している。



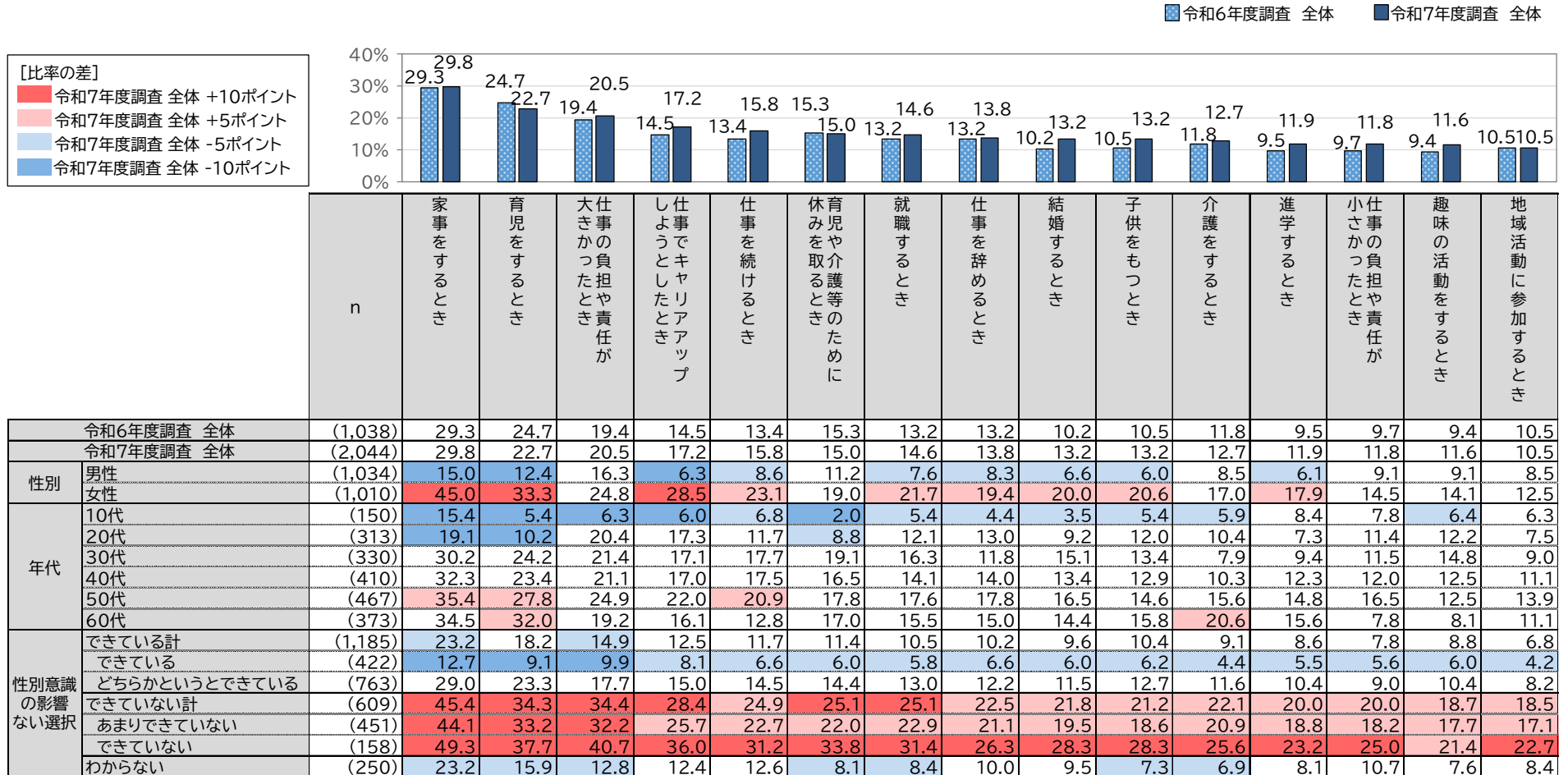
※スコアはプラスに影響された・計(「プラスに影響された」+「ややプラスに影響された」)

※「令和7年度調査 全体」のスコアで降順にソート

Q2 あなたはこれまで以下の場面において『男だから』あるいは『女だから』〇〇すべきといったような、性別に関する意識に影響されましたか。(SA)

性別の意識に影響された場面(マイナスに影響された・計)

- 性別に関する意識について、マイナスに影響された場面では「家事をするとき」が最も高く、次いで「育児をするとき」、「仕事の負担や責任が大きかったとき」などの順となっている。



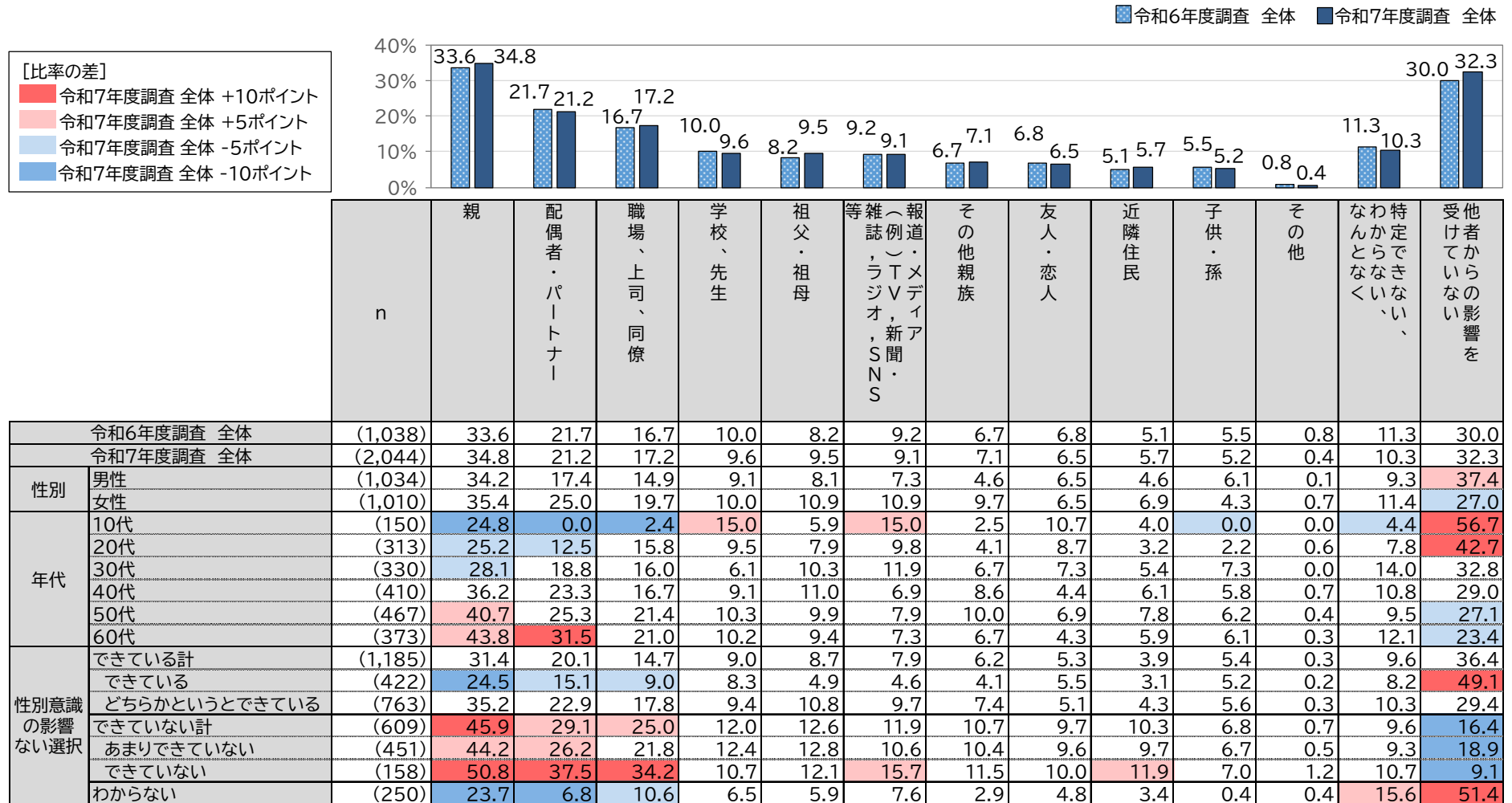
※スコアはマイナスに影響された・計:「ややマイナスに影響された」+「マイナスに影響された」

※「令和7年度調査 全体」のスコアで降順にソート

Q2 あなたはこれまで以下の場面において『男だから』あるいは『女だから』〇〇すべきといったような、性別に関する意識に影響されましたか。(SA)

性別に関する意識について、影響を与えた存在【全体】

- 影響を与えた存在について、「親」が最も高く、次いで「配偶者・パートナー」、「職場、上司、同僚」などの順となっている。
- 性別意識の影響ない選択別でみると、「できていない」において多くの項目でスコアが高い傾向が見られる。



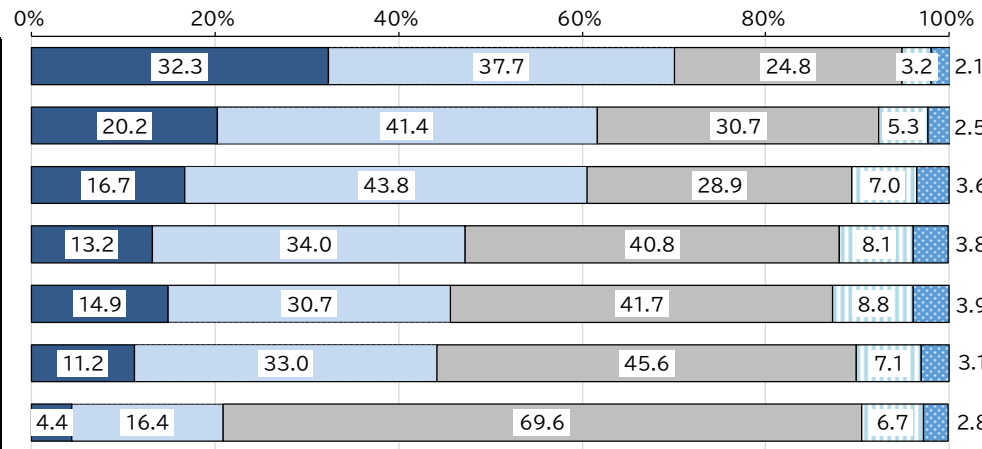
※「令和7年度調査 全体」のスコアで降順にソート

男女の地位の平等感【全体】

- 男女の地位の平等感について、「男性の方が優遇されている」では、「政治の場で」が最も高く、次いで「社会通念・慣習・しきたりなどで」などの順となっている。
- 一方、「女性の方が優遇されている」では、「法律や制度上で」が最も高く、次いで「職場で」などの順となっている。
- 各項目で『男性優遇計』が『女性優遇計』を上回る。過去調査と比較してもその傾向は変わらない。



n=2,044



【令和7年度】		【令和6年度】		【令和5年度】		【令和4年度】	
男性優遇計	女性優遇計	男性優遇計	女性優遇計	男性優遇計	女性優遇計	男性優遇計	女性優遇計
69.9	5.3	72.4	4.2	71.9	3.9	71.9	3.2
61.6	7.8	63.6	6.5	62.7	5.5	65.2	6.2
60.5	10.7	63.7	8.6	60.7	7.4	62.7	6.4
47.2	11.9	51.4	10.0	49.5	8.8	56.6	8.9
45.6	12.8	46.3	11.8	41.3	10.0	42.1	10.0
44.3	10.2	46.4	11.6	41.3	8.4	46.5	11.1
20.9	9.6	17.7	8.7	14.9	5.7	22.8	6.0

※男性優遇計:「男性の方が優遇されている」+「どちらかというとも男性の方が優遇されている」
 ※女性優遇計:「どちらかというとも女性の方が優遇されている」+「女性の方が優遇されている」
 ※「男性優遇計」のスコアで降順ソート

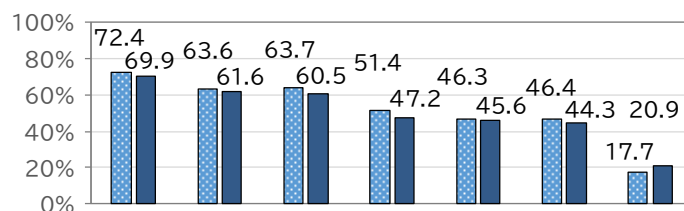
Q4 あなたはここに挙げるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。
 それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。(SA)

男女の地位の平等感【属性優遇】

- 令和7年度調査の男女の地位の平等感では、『男性優遇計』が『女性優遇計』を上回る。過去調査と比較してもその傾向は変わらない。
- 令和7年度調査では、過去調査と同様、特に「政治の場で」が男性優遇であると感じられている。

男性優遇計

■ 令和6年度調査 全体 ■ 令和7年度調査 全体



【比率の差】

- 令和7年度調査 全体 +10ポイント
- 令和7年度調査 全体 +5ポイント
- 令和7年度調査 全体 -5ポイント
- 令和7年度調査 全体 -10ポイント

	n	政治の場で	しきたり・慣習など	社会全体で	職場で	法律や制度上で	家庭生活で	学校教育の場で
令和4年度調査 全体	(1,000)	71.9	65.2	62.7	56.5	42.1	46.5	22.8
令和5年度調査 全体	(1,038)	71.9	62.7	60.7	49.5	41.3	41.3	14.9
令和6年度調査 全体	(1,038)	72.4	63.6	63.7	51.4	46.3	46.4	17.7
令和7年度調査 全体	(2,044)	69.9	61.6	60.5	47.2	45.6	44.3	20.9
性別 男性	(1,034)	56.9	48.5	45.9	36.9	31.3	31.9	14.2
性別 女性	(1,010)	83.3	75.0	75.4	57.8	60.2	56.9	27.6
年代 10代	(150)	53.4	32.3	34.7	33.1	23.7	22.7	10.1
年代 20代	(313)	62.3	49.7	49.5	39.3	40.2	32.9	20.5
年代 30代	(330)	66.0	57.8	56.6	38.0	38.8	34.2	19.7
年代 40代	(410)	72.1	64.1	62.4	50.3	48.4	47.9	22.6
年代 50代	(467)	76.1	70.0	70.1	51.7	53.0	52.6	23.4
年代 60代	(373)	76.5	73.3	69.3	58.8	52.3	56.9	21.4
性別意識の影響 できていない計	(1,185)	69.5	59.8	59.6	43.9	43.6	41.7	18.5
性別意識の影響 できている	(422)	60.3	49.7	51.9	36.8	38.1	36.1	16.9
性別意識の影響 どちらかというときでできている	(763)	74.6	65.3	63.8	47.8	46.7	44.7	19.4
性別意識の影響 できていない計	(609)	77.6	71.3	69.1	57.8	53.9	54.1	27.4
性別意識の影響 あまりできていない	(451)	76.4	71.0	67.9	56.5	53.7	54.1	26.1
性別意識の影響 できていない	(158)	80.9	72.4	72.5	61.7	54.7	54.1	31.2
性別意識の影響 わからない	(250)	53.3	46.2	43.6	37.3	34.2	32.6	15.8

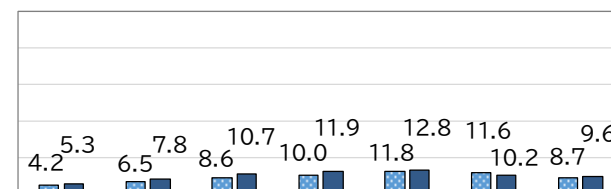
※スコアは男性優遇計

(「男性の方が優遇されている」+「どちらかというとき男性の方が優遇されている」)

※「令和7年度調査 全体(男性優遇)」のスコアで降順ソート

女性優遇計

■ 令和6年度調査 全体 ■ 令和7年度調査 全体



	政治の場で	しきたり・慣習など	社会全体で	職場で	法律や制度上で	家庭生活で	学校教育の場で
令和4年度調査 全体	3.2	6.2	6.4	8.9	10.0	11.1	6.0
令和5年度調査 全体	3.9	5.5	7.4	8.8	10.0	8.4	5.7
令和6年度調査 全体	4.2	6.5	8.6	10.0	11.8	11.6	8.7
令和7年度調査 全体	5.3	7.8	10.7	11.9	12.8	10.2	9.6
性別 男性	8.7	11.2	16.3	15.6	18.5	13.0	13.2
性別 女性	1.8	4.2	4.9	8.3	6.8	7.2	5.9
年代 10代	12.6	19.0	21.5	18.3	22.8	23.8	23.1
年代 20代	7.6	11.7	17.5	16.4	17.4	13.3	14.5
年代 30代	6.9	8.9	13.4	17.1	17.0	13.5	10.2
年代 40代	3.4	7.0	8.7	11.4	12.0	9.2	7.8
年代 50代	3.8	4.7	6.6	8.1	9.0	5.8	6.8
年代 60代	2.9	3.5	5.4	6.4	6.6	5.6	4.8
性別意識の影響 できていない計	4.2	7.3	9.4	10.1	10.7	9.4	8.1
性別意識の影響 できている	5.1	8.0	9.7	10.1	11.3	10.1	8.3
性別意識の影響 どちらかというときでできている	3.6	6.8	9.3	10.1	10.4	9.0	7.9
性別意識の影響 できていない計	6.0	7.7	12.4	15.6	16.1	10.3	10.8
性別意識の影響 あまりできていない	5.0	6.6	10.2	12.7	12.9	8.4	8.1
性別意識の影響 できていない	8.6	11.0	18.7	24.1	25.1	15.7	18.5
性別意識の影響 わからない	9.0	10.1	12.3	11.7	14.3	13.5	13.6

※スコアは女性優遇計

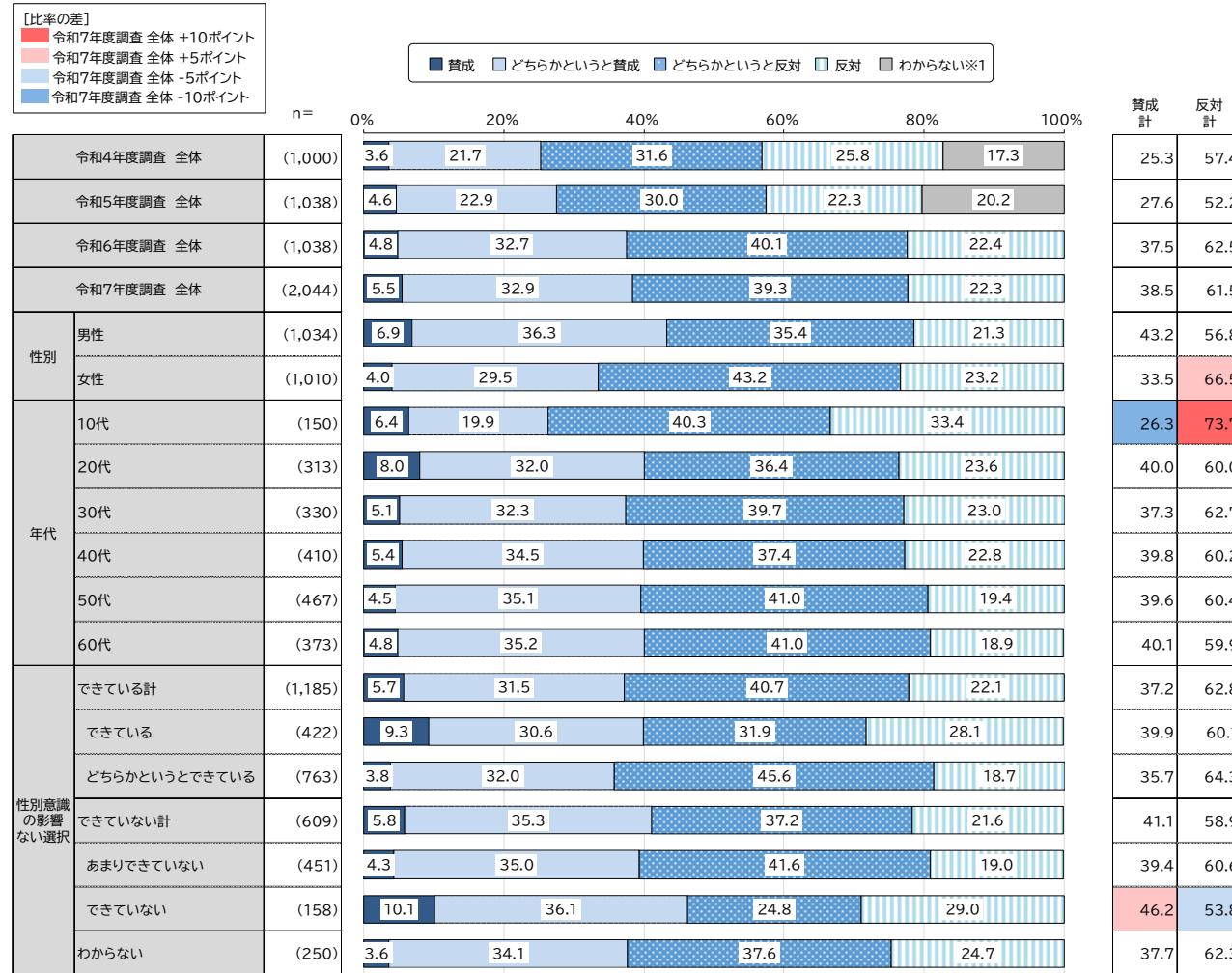
(「どちらかというとき女性の方が優遇されている」+「女性の方が優遇されている」)

※「令和7年度調査 全体(女性優遇)」のスコアで降順ソート

Q4 あなたはここに挙げるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。
それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んでください。(SA)

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」への意見

- 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」に対する意見について、『賛成計』が39%、『反対計』が62%と反対意見が6割以上を占めている。
- 性別でみると、女性の『反対計』が67%と男性より高くなっている。
- 年代別でみると、10代において『賛成計』と『反対計』の差が最も大きくなっている。



※1:令和6年度調査では非聴取

※賛成計:「賛成」+「どちらかという賛成」

※反対計:「どちらかという反対」+「反対」

Q5 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。

次の中から、あなたのお気持ちに近いものを1つだけ選んでください。(SA)

男女の役割分担意識×週当たりの平均労働時間×性別

- 週当たりの平均労働時間でみると、女性については労働時間が長くなるほど『反対計』が高くなる傾向にある。他方、男性については労働時間が「30-49時間」が相対的に高くなっている。

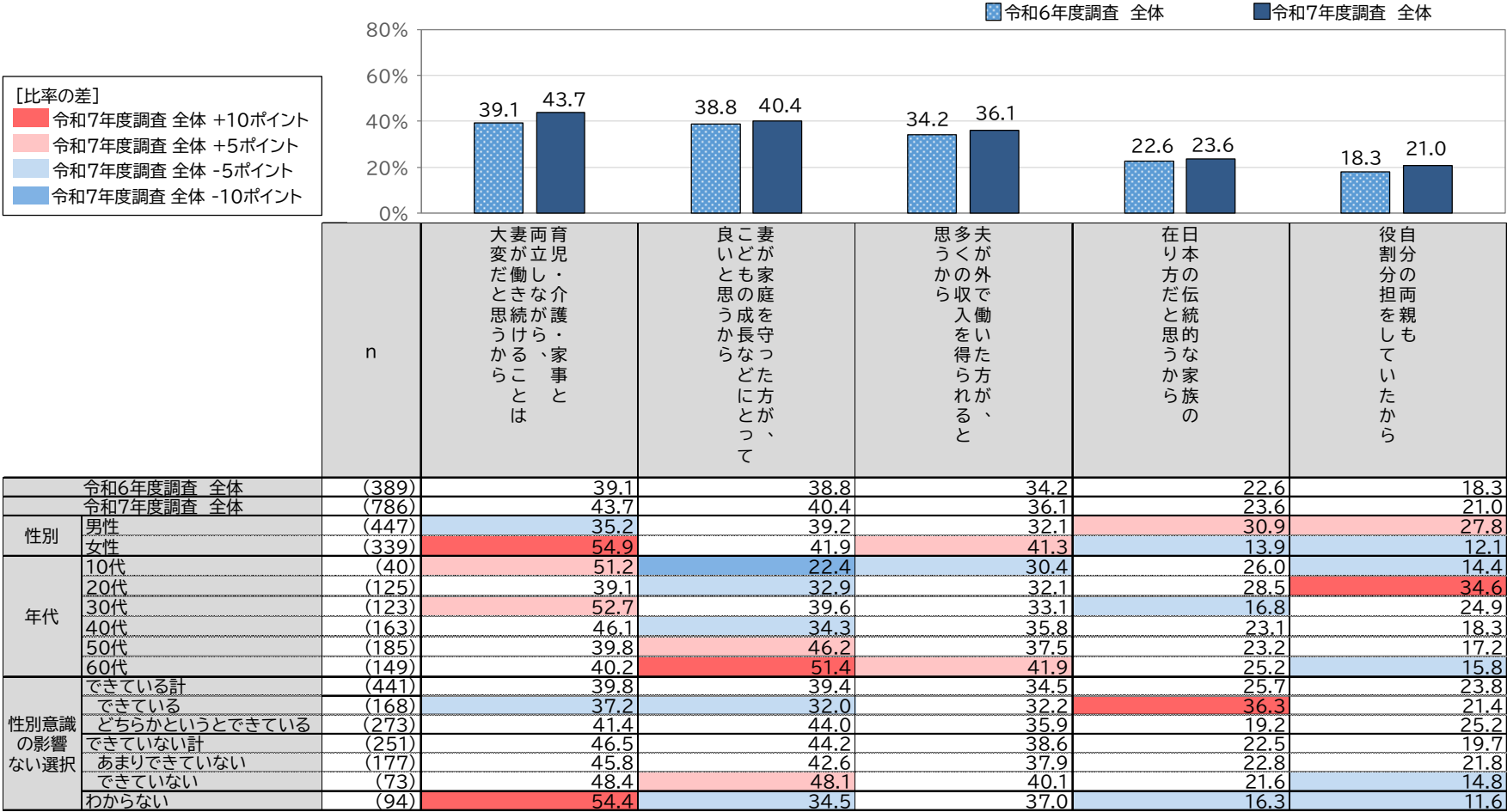
		n	賛成 男女の 役割分 担意識	反対 男女の 役割分 担意識
[比率の差]				
■ 令和7年度調査 全体 +10ポイント				
■ 令和7年度調査 全体 +5ポイント				
■ 令和7年度調査 全体 -5ポイント				
■ 令和7年度調査 全体 -10ポイント				
広島県全体		(2,044)	38.5	61.5
広島県男性全体		(835)	45.3	54.7
週当たりの平均労働時間 (残業時間を含む)	29時間以下	(138)	52.4	47.6
	30-49時間	(502)	42.6	57.4
	50時間以上	(132)	51.9	48.1
	わからない	(63)	36.9	63.1
広島県女性全体		(702)	31.1	68.9
週当たりの平均労働時間 (残業時間を含む)	29時間以下	(289)	36.0	64.0
	30-49時間	(307)	26.5	73.5
	50時間以上	(44)	20.9	79.1
	わからない	(63)	37.5	62.5

※Q15 就労形態で「学生」、「無職」と回答した人を除く
 ※男女の役割分担意識賛成計:「賛成」+「どちらかという賛成」
 ※男女の役割分担意識反対計:「どちらかという反対」+「反対」

Q5 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。
 次の中から、あなたのお気持ちに近いものを1つだけ選んでください。(SA)

賛成理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」

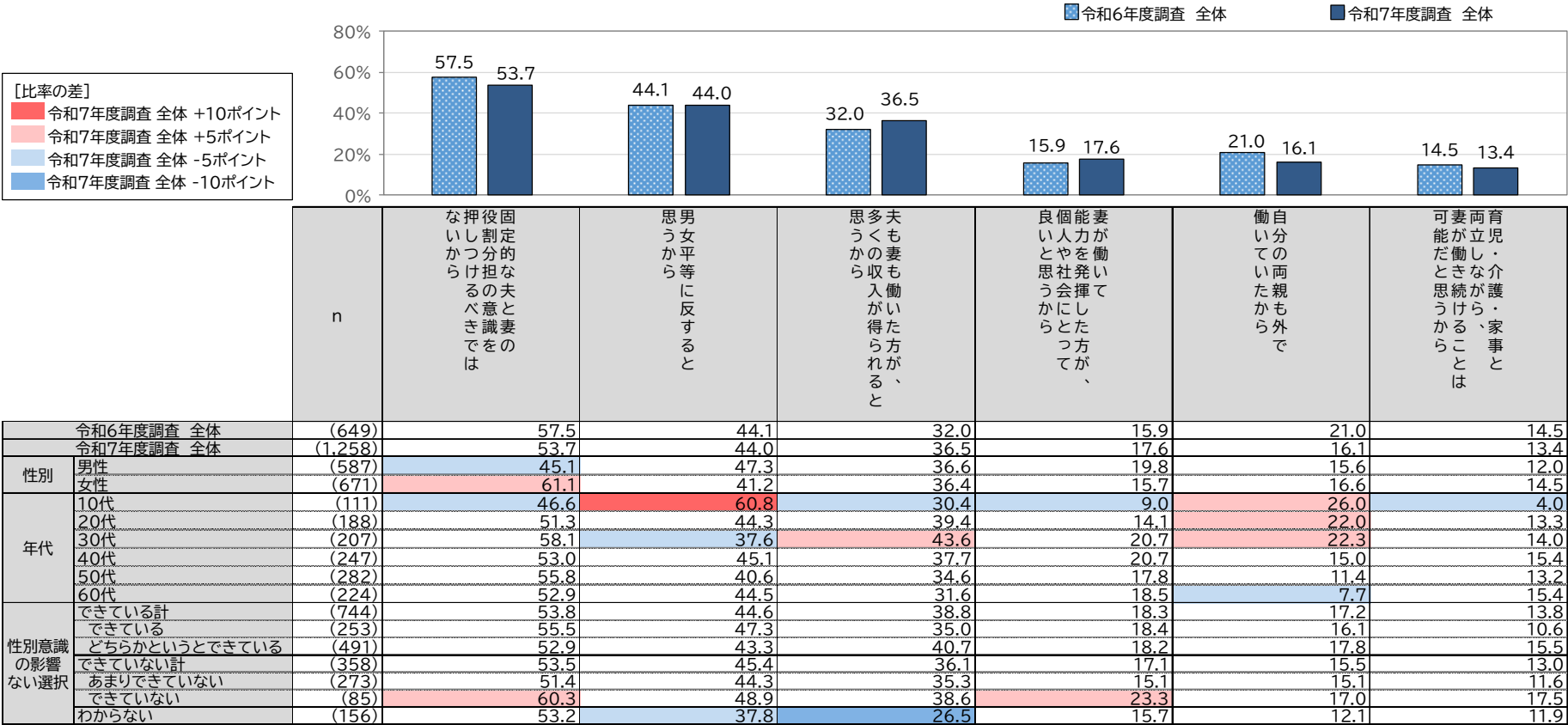
- 賛成理由について、「育児・介護・家事と両立～」が最も高く、次いで「妻が家庭を守った方が～」などの順となっている。
- 年代別でみると、20代は「自分の両親も役割分担～」が全体スコアより14pt高くなっている。



※「令和7年度調査 全体」のスコアで降順ソート

反対理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」

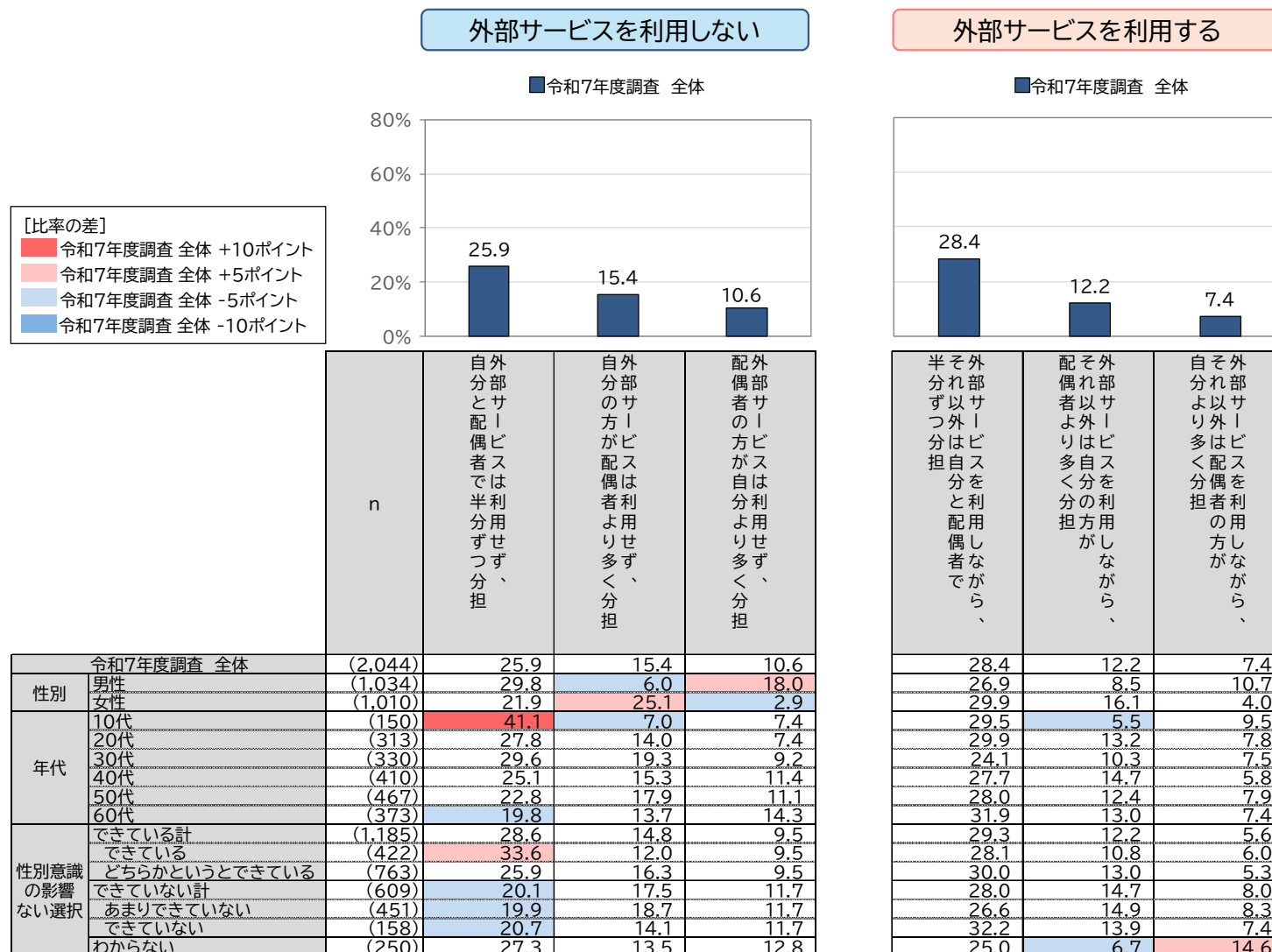
- 反対理由について、「固定的な夫と妻の役割分担～」が最も高く、次いで「男女平等に反すると思うから」、「夫も妻も働いた方が～」などの順となっている。
- 年代別でみると、10代は「男女平等に反すると思うから」が高い。



※「令和7年度調査 全体」のスコアで降順ソート

配偶者との役割分担(育児)【属性別】

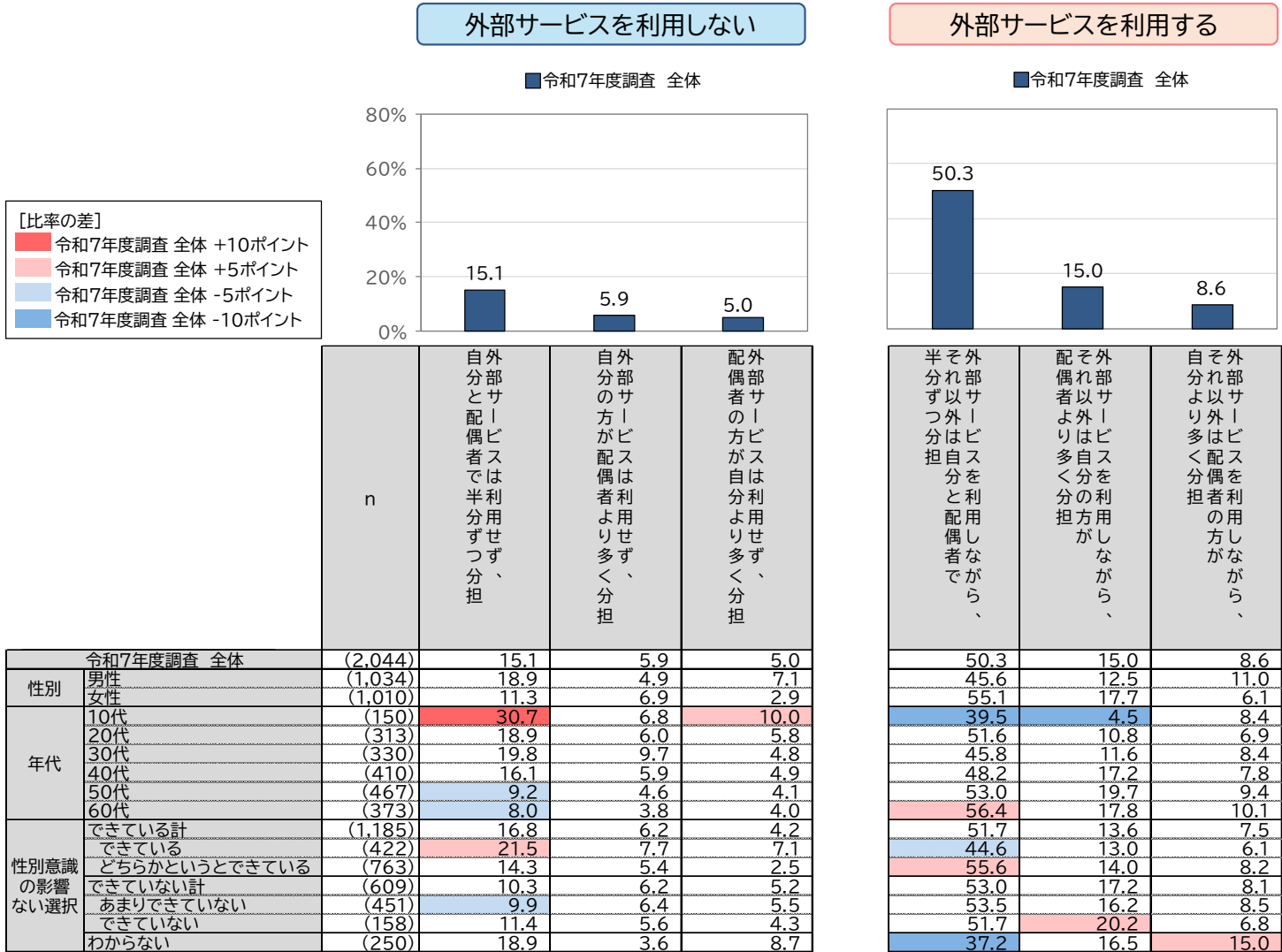
- 配偶者との役割分担の育児について、女性は「外部サービスは利用せず、自分の方が配偶者より多く分担」が男性と比較して19pt高くなっている。



Q8 あなたは、次の項目について、あなたと配偶者でどのように分担したいと思いますか。
 保育所、訪問介護、家事代行など外部サービスの利用も含め、あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。(SA)

配偶者との役割分担(介護)【属性別】

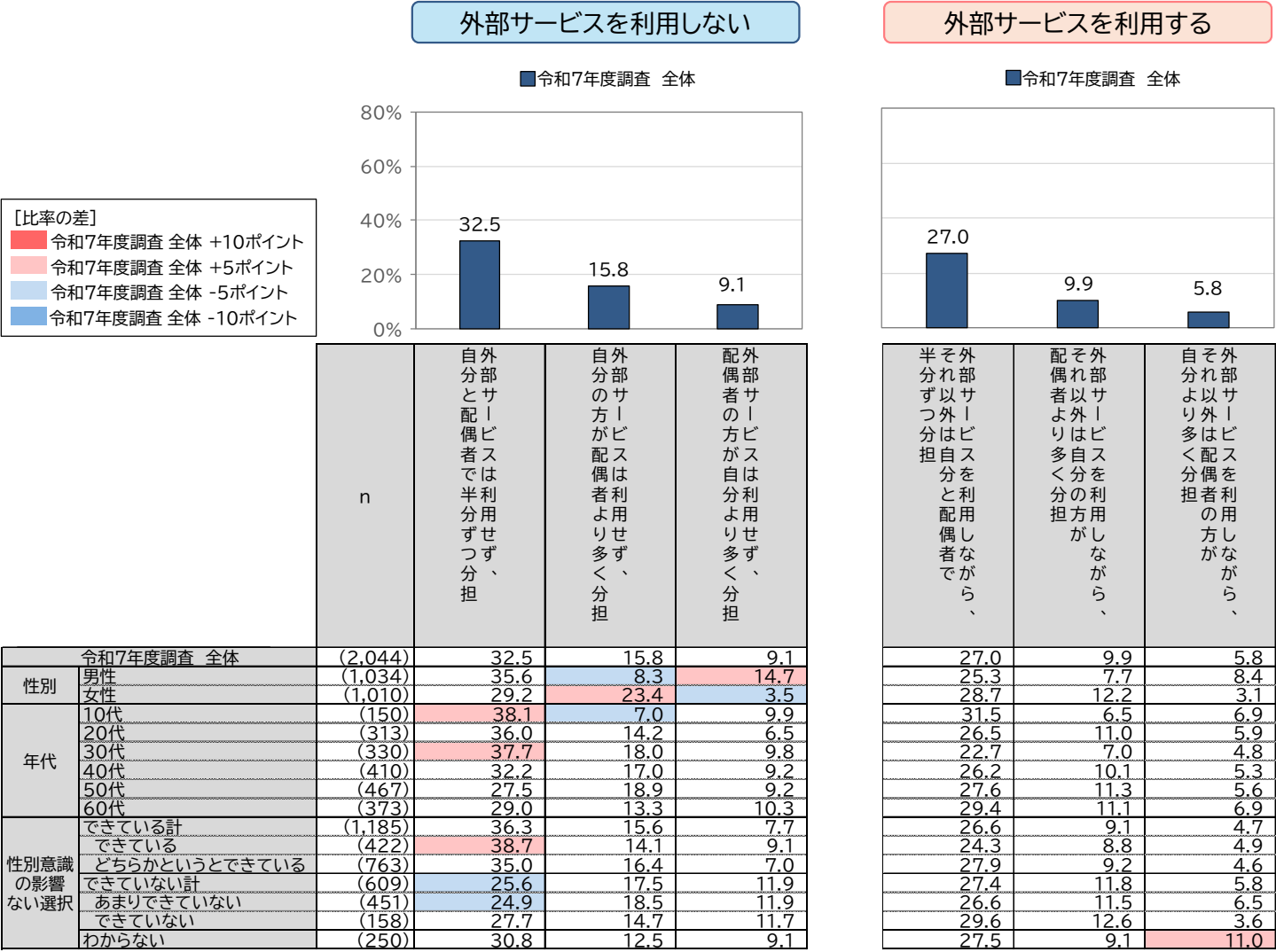
- 配偶者との役割分担の介護について、10代を除く年代で、「外部サービスを利用しながら、自分と配偶者で半分ずつ分担」の割合が5割を占めている。



Q8 あなたは、次の項目について、あなたと配偶者でどのように分担したいと思いますか。
保育所、訪問介護、家事代行など外部サービスの利用も含め、あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。(SA)

配偶者との役割分担(育児・介護以外の家事)【属性別】

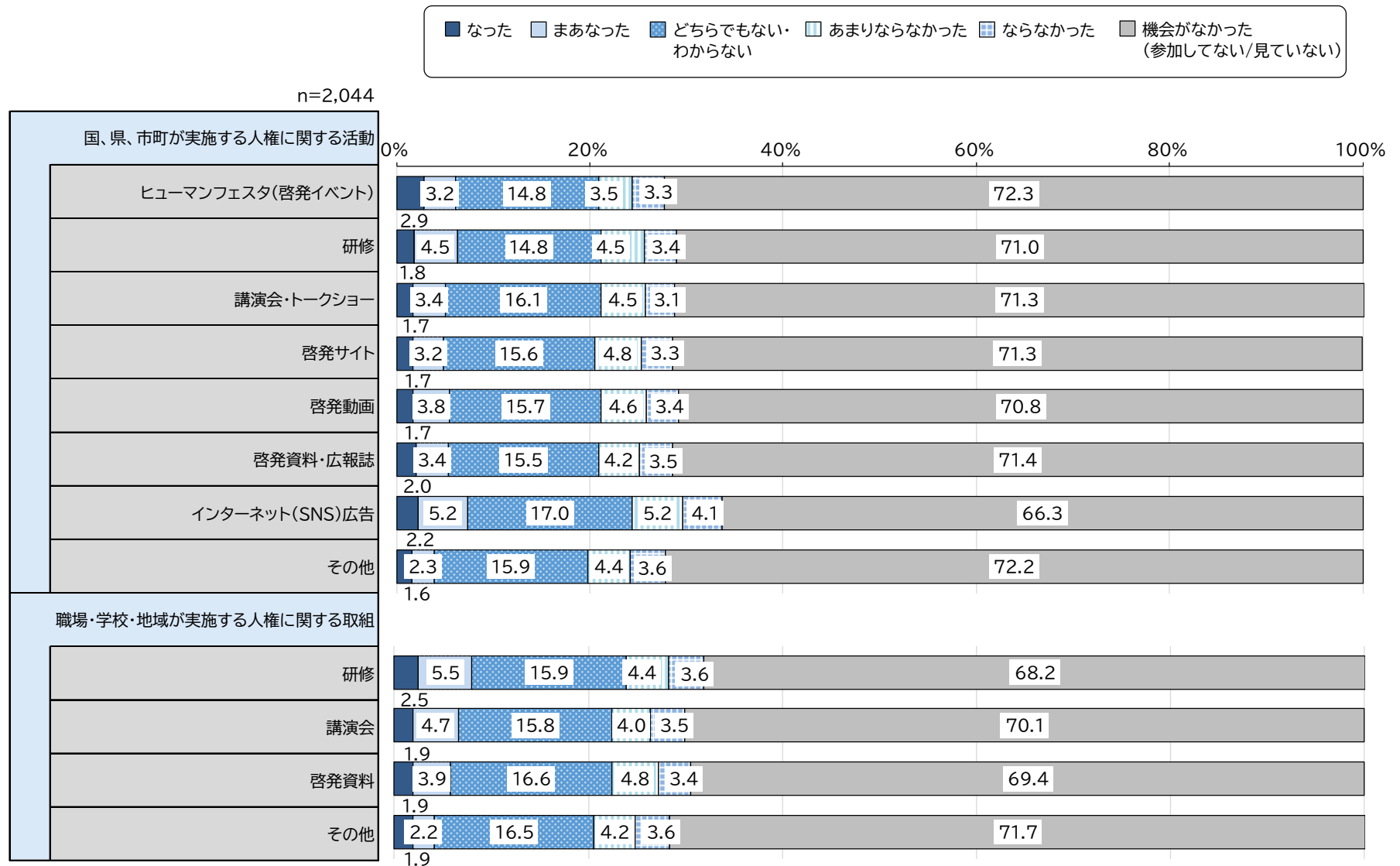
- 配偶者との役割分担の育児・介護以外の家事について、性別、10～40代で、「外部サービスは利用せず、自分と配偶者で半分ずつ分担」の割合が最も高くなっている。
- 年代別でみると、10代、30代の「外部サービスは利用せず、自分と配偶者で半分ずつ分担」の割合が他の年代より高くなっている。



Q8 あなたは、次の項目について、あなたと配偶者でどのように分担したいと思いますか。
保育所、訪問介護、家事代行など外部サービスの利用も含め、あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。(SA)

人権に関する活動や取組について

- 人権に関する活動や取組について、ほとんどの項目で「機会がなかった(参加していない/見ていない)」が7割を占めている。



Q9 あなたは、最近1年間で、人権問題に関するイベント・研修会・講演会などに参加したり、啓発サイト、啓発資料などを見ることによって人権尊重について考える機会になりましたか。(SA)

人権に関する活動や取組(国、県、市町が実施)×性別に関する意識

- 国、県、市町が実施の人権に関する活動や取組で、人権尊重について考える機会になった人は、性別に関する意識の『できている計』の割合が高い。

【比率の差】
■ 令和7年度調査 全体 +10ポイント
■ 令和7年度調査 全体 +5ポイント
■ 令和7年度調査 全体 -5ポイント
■ 令和7年度調査 全体 -10ポイント

		n	で性別に関する意識 できている計	で性別に関する意識 できていない計	わ性別に関する意識 わからない計
令和7年度調査 全体		(2,044)	58.0	29.8	12.2
国、県、市町が実施					
ヒューマンフェスタ (啓発イベント)	機会になった	(124)	67.3	22.2	10.5
	わからない	(303)	52.4	32.6	14.9
	機会にならなかった	(139)	55.6	35.3	9.1
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,477)	58.5	29.3	12.1
研修	機会になった	(128)	71.6	19.8	8.6
	わからない	(303)	51.1	33.0	15.9
	機会にならなかった	(162)	59.0	33.1	8.0
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,451)	58.1	29.7	12.3
講演会・トークショー	機会になった	(105)	69.0	23.4	7.6
	わからない	(328)	54.3	31.3	14.3
	機会にならなかった	(154)	56.3	32.7	11.0
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,457)	58.2	29.6	12.2
啓発サイト	機会になった	(101)	66.3	24.7	8.9
	わからない	(320)	54.5	31.2	14.4
	機会にならなかった	(166)	55.4	33.1	11.4
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,457)	58.4	29.5	12.1

		n	で性別に関する意識 できている計	で性別に関する意識 できていない計	わ性別に関する意識 わからない計
令和7年度調査 全体		(2,044)	58.0	29.8	12.2
国、県、市町が実施					
啓発動画	機会になった	(112)	63.7	29.1	7.1
	わからない	(320)	53.6	30.5	15.9
	機会にならなかった	(164)	58.4	32.6	9.0
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,448)	58.4	29.4	12.2
啓発資料・広報誌	機会になった	(111)	63.6	27.0	9.4
	わからない	(317)	53.1	31.7	15.1
	機会にならなかった	(157)	60.0	30.2	9.8
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,459)	58.4	29.5	12.1
インターネット(SNS) 広告	機会になった	(152)	66.8	26.6	6.6
	わからない	(348)	56.5	29.3	14.2
	機会にならなかった	(189)	54.4	36.8	8.8
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,356)	57.8	29.3	12.9

※性別に関する意識できている計:「できている」+「どちらかというできている」
 ※性別に関する意識できていない計:「どちらかというできていない」+「できていない」
 ※上記以外:「言葉は知っているが内容は理解していない」+「言葉を知らない」

Q9 あなたは、最近1年間で、人権問題に関するイベント・研修会・講演会などに参加したり、啓発サイト、啓発資料などを見ることによって人権尊重について考える機会になりましたか。(SA)

人権に関する活動や取組(職場・学校・地域が開催)×性別に関する意識

- 職場、学校、地域が実施の人権に関する活動や取組で、人権尊重について考える機会になった人は、性別に関する意識の『できている計』の割合が高い。

		n	性別に関する意識 できている計	性別に関する意識 できていない計	性別に関する意識 わからない計
令和7年度調査 全体		(2,044)	58.0	29.8	12.2
職場・学校・地域が開催					
研修	機会になった	(163)	68.5	25.4	6.1
	わからない	(325)	53.7	30.1	16.2
	機会にならなかった	(163)	57.9	33.4	8.7
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,393)	57.7	29.8	12.4
講演会	機会になった	(136)	69.1	25.0	5.9
	わからない	(323)	53.1	30.5	16.4
	機会にならなかった	(153)	57.1	35.2	7.8
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,432)	58.1	29.5	12.4
啓発資料	機会になった	(119)	66.2	25.0	8.8
	わからない	(340)	55.0	30.6	14.4
	機会にならなかった	(167)	58.9	32.9	8.2
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,419)	57.9	29.6	12.5

[比率の差]
令和7年度調査 全体 +10ポイント
令和7年度調査 全体 +5ポイント
令和7年度調査 全体 -5ポイント
令和7年度調査 全体 -10ポイント

※性別に関する意識できている計:「できている」+「どちらかというときできている」
※性別に関する意識できていない計:「どちらかというときできていない」+「できていない」
※上記以外:「言葉は知っているが内容は理解していない」+「言葉を知らない」

人権に関する活動や取組(国、県、市町が実施) × 男女の役割分担意識

- 国、県、市町が実施の人権に関する活動や取組で、人権尊重について考える機会になった人は、男女の役割分担意識の『賛成計』の割合が高い。

		n	賛成計 男女の 役割分 担意識	反対計 男女の 役割分 担意識
令和7年度調査 全体		(2,044)	38.5	61.5
国、県、市町が実施				
ヒューマンフェスタ (啓発イベント)	機会になった	(124)	54.7	45.3
	わからない	(303)	43.9	56.1
	機会にならなかった	(139)	42.3	57.7
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,477)	35.6	64.4
研修	機会になった	(128)	52.2	47.8
	わからない	(303)	43.8	56.2
	機会にならなかった	(162)	42.9	57.1
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,451)	35.6	64.4
講演会・トークショー	機会になった	(105)	57.9	42.1
	わからない	(328)	43.1	56.9
	機会にならなかった	(154)	47.1	52.9
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,457)	35.1	64.9
啓発サイト	機会になった	(101)	56.7	43.3
	わからない	(320)	43.3	56.7
	機会にならなかった	(166)	44.9	55.1
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,457)	35.4	64.6

[比率の差]

- 令和7年度調査 全体 +10ポイント
- 令和7年度調査 全体 +5ポイント
- 令和7年度調査 全体 -5ポイント
- 令和7年度調査 全体 -10ポイント

		n	賛成計 男女の 役割分 担意識	反対計 男女の 役割分 担意識
令和7年度調査 全体		(2,044)	38.5	61.5
国、県、市町が実施				
啓発動画	機会になった	(112)	57.6	42.4
	わからない	(320)	40.4	59.6
	機会にならなかった	(164)	49.3	50.7
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,448)	35.3	64.7
啓発資料・広報誌	機会になった	(111)	54.2	45.8
	わからない	(317)	41.3	58.7
	機会にならなかった	(157)	48.5	51.5
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,459)	35.6	64.4
インターネット(SNS) 広告	機会になった	(152)	50.5	49.5
	わからない	(348)	41.9	58.1
	機会にならなかった	(189)	46.8	53.2
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,356)	35.0	65.0

※男女の役割分担意識賛成計:「賛成」+「どちらかという賛成」

※男女の役割分担意識反対計:「どちらかという反対」+「反対」

※上記以外:「言葉は知っているが内容は理解していない」+「言葉を知らない」

Q9 あなたは、最近1年間で、人権問題に関するイベント・研修会・講演会などに参加したり、啓発サイト、啓発資料などを見ることによって人権尊重について考える機会になりましたか。(SA)

人権に関する活動や取組(職場・学校・地域が開催) × 男女の役割分担意識

- 職場、学校、地域が実施の人権に関する活動や取組で、人権尊重について考える機会になった人は、男女の役割分担意識の『賛成計』の割合が高い。

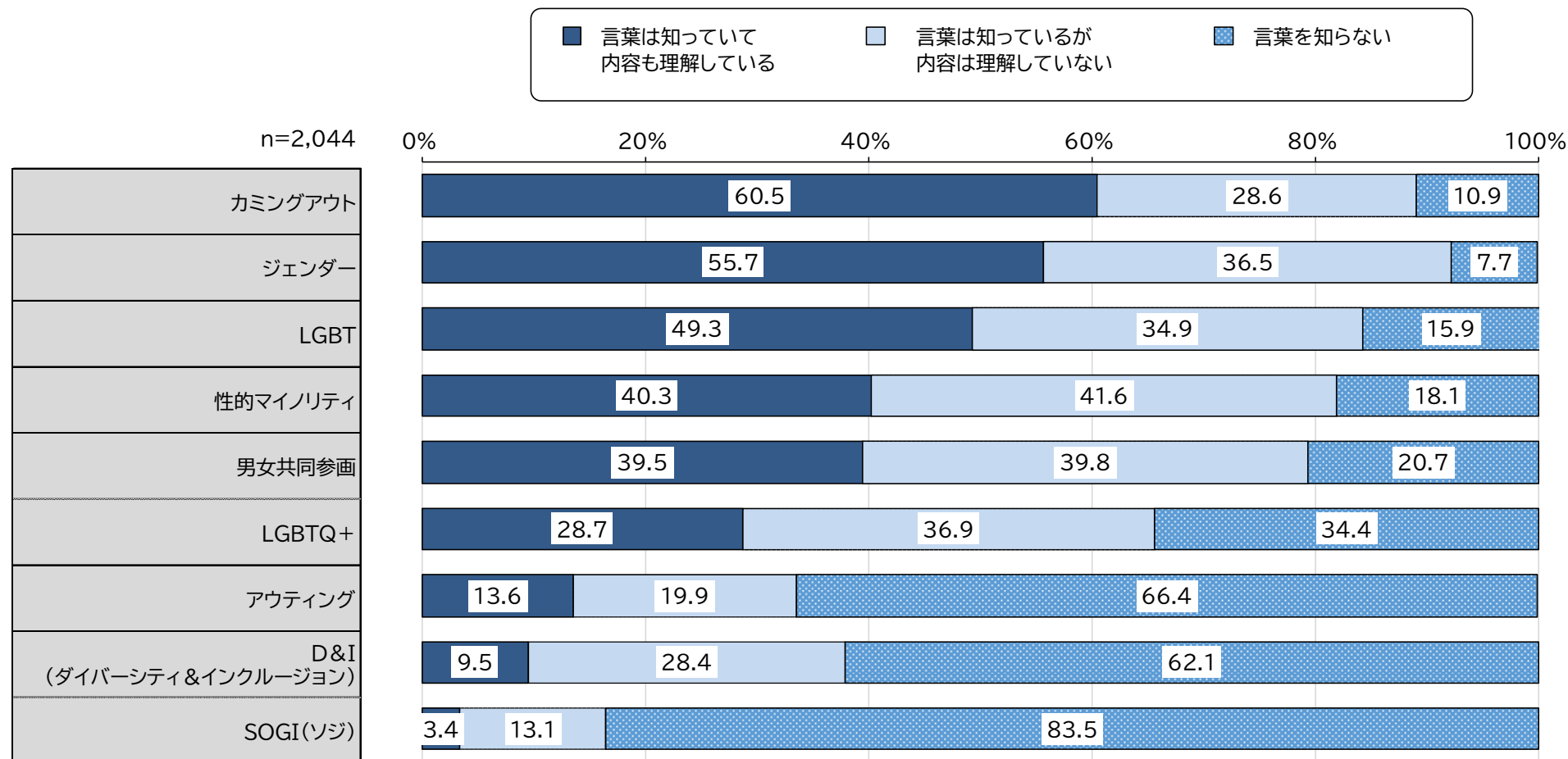
		n	賛成計 男女の 役割分 担意識	反対計 男女の 役割分 担意識
令和7年度調査 全体		(2,044)	38.5	61.5
職場・学校・地域が開催				
研修	機会になった	(163)	47.9	52.1
	わからない	(325)	44.2	55.8
	機会にならなかった	(163)	41.3	58.7
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,393)	35.7	64.3
講演会	機会になった	(136)	51.1	48.9
	わからない	(323)	45.0	55.0
	機会にならなかった	(153)	43.1	56.9
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,432)	35.3	64.7
啓発資料	機会になった	(119)	48.8	51.2
	わからない	(340)	43.9	56.1
	機会にならなかった	(167)	43.0	57.0
	機会がなかった (参加していない／見ていない)	(1,419)	35.8	64.2

[比率の差]	
令和7年度調査 全体	+10ポイント
令和7年度調査 全体	+5ポイント
令和7年度調査 全体	-5ポイント
令和7年度調査 全体	-10ポイント

※男女の役割分担意識賛成計:「賛成」+「どちらかという賛成」
 ※男女の役割分担意識反対計:「どちらかという反対」+「反対」
 ※上記以外:「言葉は知っているが内容は理解していない」+「言葉を知らない」

Q9 あなたは、最近1年間で、人権問題に関するイベント・研修会・講演会などに参加したり、啓発サイト、啓発資料などを見ることによって人権尊重について考える機会になりましたか。(SA)

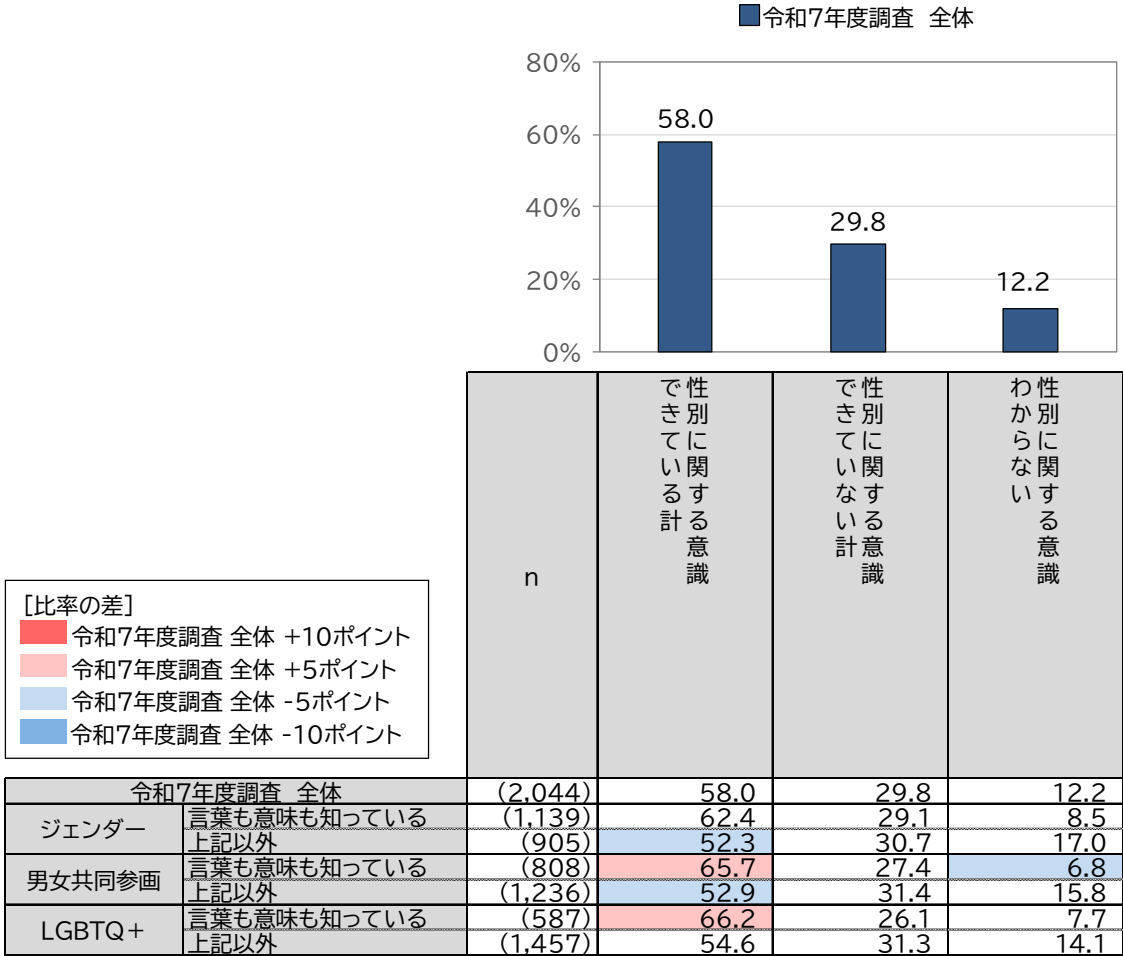
- 言葉の認知度について、「言葉は知っていて内容も理解している」では、「カミングアウト」が最も高く、次いで「ジェンダー」、「LGBT」などの順となっている。
- 一方、「言葉を知らない」では、「SOGI(ソジ)」が最も高く、次いで「アウティング」、「D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)」などの順となっている。



※「言葉は知っていて内容も理解している」のスコアで降順ソート

言葉の認識度×性別に関する意識

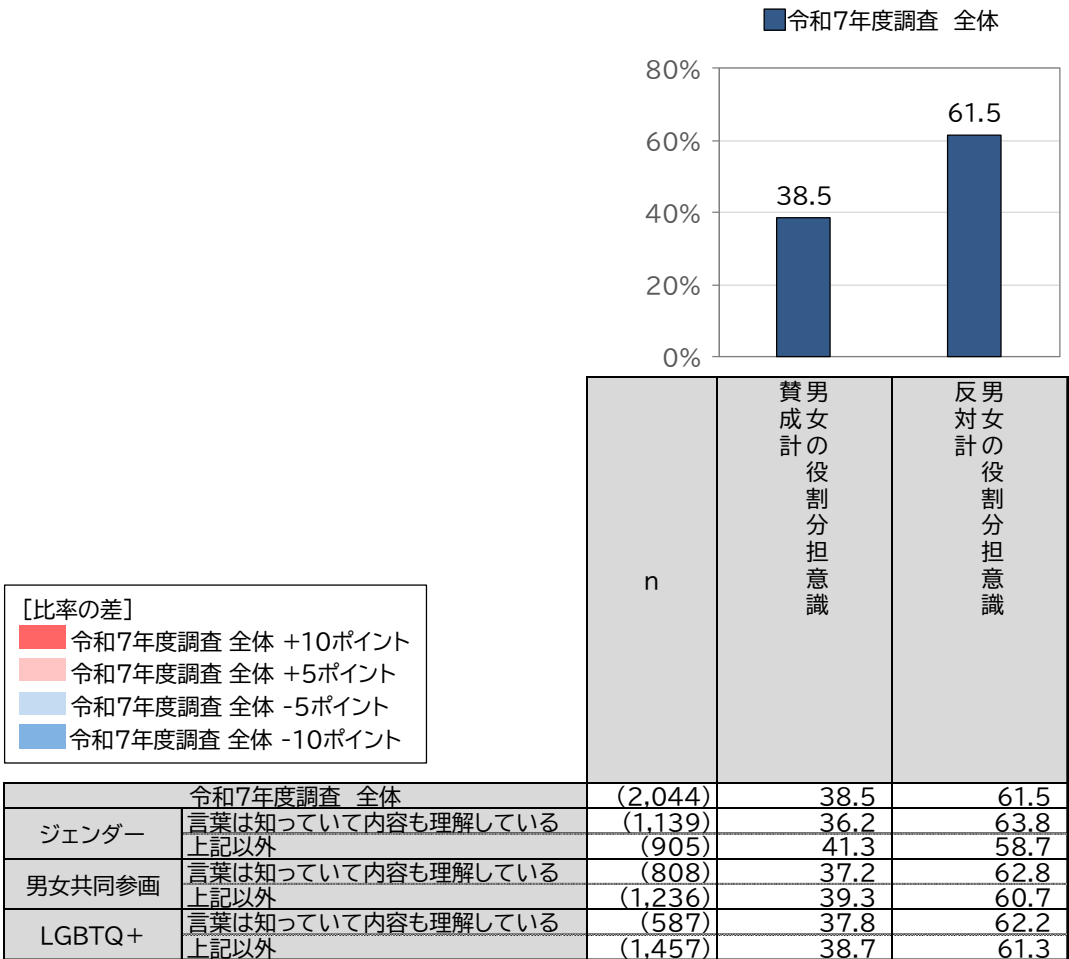
- 「ジェンダー」、「男女共同参画」、「LGBTQ+」の「言葉は知っていて内容も理解している」層とそれ以外の層を比較すると、言葉の意味を理解している層の方が、性別に関する意識関係なく生活が『できている計』が高くなっている。



※性別に関する意識できている計:「できている」+「どちらかというときできている」
※性別に関する意識できていない計:「どちらかというときできていない」+「できていない」
※上記以外:「言葉は知っているが内容は理解していない」+「言葉を知らない」

言葉の認識度×男女の役割分担意識

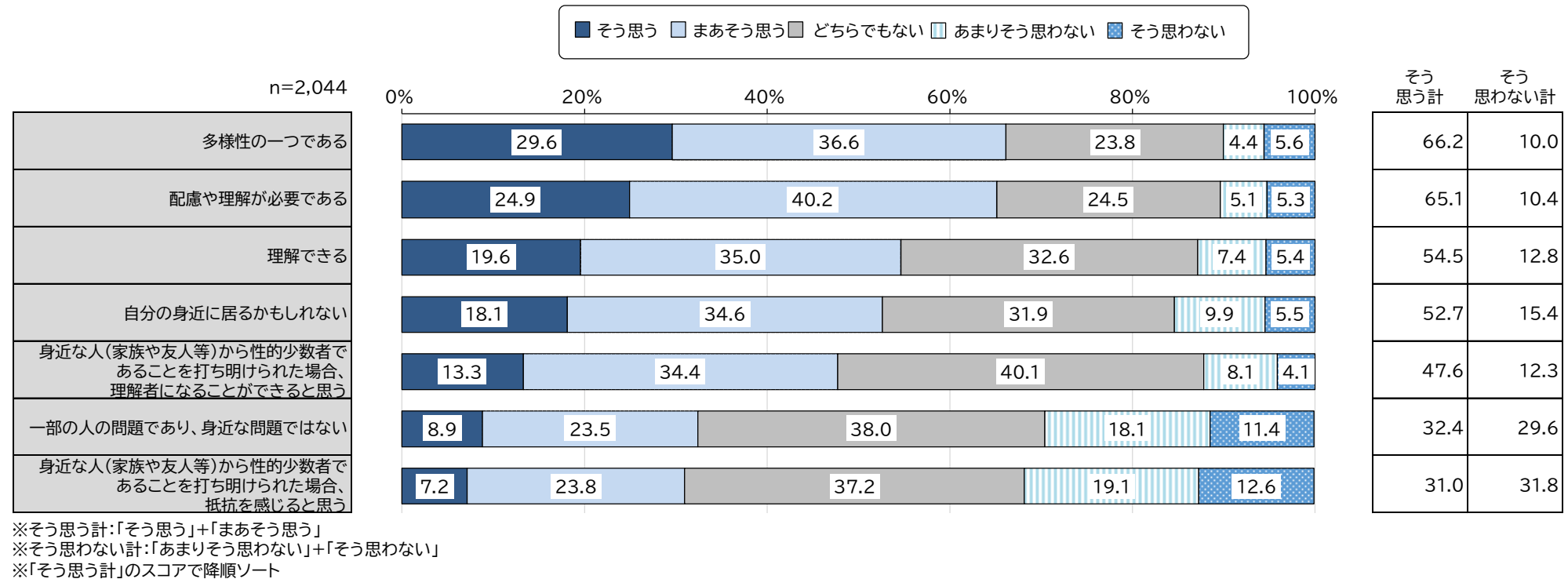
- 「ジェンダー」、「男女共同参画」、「LGBTQ+」の「言葉は知っていて内容も理解している」層とそれ以外の層を比較すると、言葉の意味を理解している層の方が、男女の役割分担意識の『反対計』がやや高くなる傾向にある。



※男女の役割分担意識賛成計:「賛成」+「どちらかという賛成」
 ※男女の役割分担意識反対計:「どちらかという反対」+「反対」
 ※上記以外:「言葉は知っているが内容は理解していない」+「言葉を知らない」

性的マイノリティについて

- 性的マイノリティについて、『そう思う計』では、「多様性の一つである」が最も高く、次いで「配慮や理解が必要である」の順となっている。
- 一方、『そう思わない計』では、「身近な人(家族や友人等)から性的少数者であることを打ち明けられた場合、抵抗を感じると思う」が最も高く、次いで「一部の人の問題であり、身近な問題ではない」の順となっている。

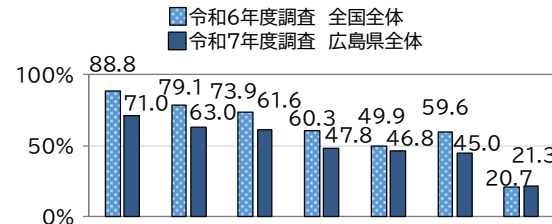


2.内閣府のデータ比較(全国と広島県の比較)

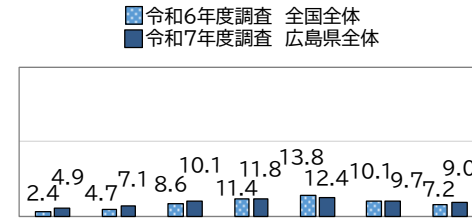
男女の地位の平等感_属性優遇【性別・年代別】

- 広島県全体では、全国全体と比較して、「学校教育の場で」を除くほとんどの項目で男性優遇のスコアが低く、平等のスコアが高い。
- 平等になっているという意識が、全国に比べて高い。
- 性別や、年代別でも多少の変動はあるものの、ほぼ同様の傾向が見られる。
- 女性優遇のスコアでみると全国と広島県の差は小さい。

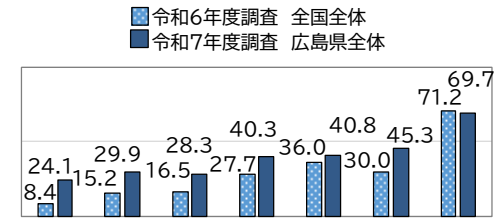
男性優遇計



女性優遇計



平等



[比率の差]	
全国 +10ポイント	
全国 +5ポイント	
全国 -5ポイント	
全国 -10ポイント	

			n	政治の場で	社会全体で	社会全体で	職場で	法律や制度上で	家庭生活で	学校教育の場で
令和6年度調査 全国全体			(1,921)	88.8	79.1	73.9	60.3	49.9	59.6	20.7
令和7年度調査 広島県全体			(1,962)	71.0	63.0	61.6	47.8	46.8	45.0	21.3
性別	男性	全国 (令和6年度)	(868)	82.5	68.8	61.7	51.4	36.5	47.2	13.9
		広島県 (令和7年度)	(994)	57.3	49.5	46.6	36.9	32.1	32.2	14.4
	女性	全国 (令和6年度)	(1,053)	94.0	87.5	83.9	67.7	61.0	69.8	26.3
		広島県 (令和7年度)	(968)	85.0	76.8	77.0	59.0	61.9	58.2	28.5
年代	18~29歳	全国 (令和6年度)	(252)	86.1	63.9	60.3	45.6	38.5	40.9	10.3
		広島県 (令和7年度)	(382)	62.3	47.7	47.2	38.2	38.9	30.3	18.8
	30代	全国 (令和6年度)	(294)	89.8	76.2	69.4	61.2	41.5	56.5	19.7
		広島県 (令和7年度)	(330)	66.0	57.8	56.6	38.0	38.8	34.2	19.7
	40代	全国 (令和6年度)	(415)	88.4	80.5	73.7	58.8	50.6	59.3	21.0
		広島県 (令和7年度)	(410)	72.1	64.1	62.4	50.3	48.4	47.9	22.6
	50代	全国 (令和6年度)	(490)	88.0	80.6	75.9	62.7	53.7	62.7	24.3
		広島県 (令和7年度)	(467)	76.1	70.0	70.1	51.7	53.0	52.6	23.4
	60代	全国 (令和6年度)	(470)	90.9	86.2	81.9	66.6	56.8	68.7	23.0
		広島県 (令和7年度)	(373)	76.5	73.3	69.3	58.8	52.3	56.9	21.4

項目	令和6年度調査 全国全体 (%)	令和7年度調査 広島県全体 (%)
政治の場で	2.4	4.9
社会全体で	4.7	7.1
社会全体で	8.6	10.1
職場で	11.4	11.8
法律や制度上で	13.8	12.4
家庭生活で	10.1	9.7
学校教育の場で	7.2	9.0

項目	令和6年度調査 全国全体 (%)	令和7年度調査 広島県全体 (%)
政治の場で	8.4	24.1
社会全体で	15.2	29.9
社会全体で	16.5	28.3
職場で	27.7	40.3
法律や制度上で	36.0	40.8
家庭生活で	30.0	45.3
学校教育の場で	71.2	69.7

※全国全体・性別については、内閣府のデータを18~60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値
 ※「令和7年度調査 広島県全体(男性優遇計)」のスコアで降順ソート

男女の地位の平等感_属性優遇【性年代別】

- 男性×年代別では、全ての年代において全国と比較して「政治の場で」、「社会通念・慣習・しきたりなどで」、「社会全体で」、「職場で」、「家庭生活で」の男性優遇のスコアが低く、「政治の場で」、「社会通念・慣習・しきたりなどで」、「社会全体で」の平等のスコアで差が大きい。
- 女性18～29歳は全国と比較して「学校教育の場で」の男性優遇のスコアが高く、平等のスコアが低い。

男性優遇計

女性優遇計

平等

		(%)								(%)								(%)							
[比率の差]		n	政治の 場で	社会 通念・慣習・ しきたりなど で	社会 全体で	職場 で	法律 や制度上 で	家庭 生活で	学校 教育の場 で	政治の 場で	社会 通念・慣習・ しきたりなど で	社会 全体で	職場 で	法律 や制度上 で	家庭 生活で	学校 教育の場 で	政治の 場で	社会 通念・慣習・ しきたりなど で	社会 全体で	職場 で	法律 や制度上 で	家庭 生活で	学校 教育の場 で		
全国 +10ポイント																									
全国 +5ポイント																									
全国 -5ポイント																									
全国 -10ポイント																									
令和6年度調査 全国全体		(1,921)	88.8	79.1	73.9	60.3	49.9	59.6	20.7	2.4	4.7	8.6	11.4	13.8	10.1	7.2	8.4	15.2	16.5	27.7	36.0	30.0	71.2		
令和7年度調査 広島県全体		(1,962)	71.0	63.0	61.6	47.8	46.8	45.0	21.3	4.9	7.1	10.1	11.8	12.4	9.7	9.0	24.1	29.9	28.3	40.3	40.8	45.3	69.7		
令和6年度調査 全国男性全体		(868)	82.5	68.8	61.7	51.4	36.5	47.2	13.9	3.7	8.3	14.4	16.5	20.5	14.5	10.7	13.5	21.6	22.5	31.7	42.7	37.9	74.3		
令和7年度調査 広島県男性全体		(994)	57.3	49.5	46.6	36.9	32.1	32.2	14.4	8.2	10.4	15.7	15.6	17.9	12.8	12.5	34.5	40.1	37.7	47.5	50.0	55.0	73.1		
男性 × 年代別	18～29歳	全国（令和6年度）	(114)	80.7	51.8	42.1	27.2	23.7	10.5	4.4	13.2	28.1	21.9	36.8	19.3	24.6	14.9	34.2	28.9	50.0	39.5	53.5	64.9		
		広島県（令和7年度）	(202)	49.1	36.7	33.9	28.7	25.5	23.8	13.3	13.1	16.1	24.5	19.9	26.6	18.5	19.9	37.8	47.2	41.6	51.4	47.9	57.7	66.8	
	30代	全国（令和6年度）	(120)	81.7	59.2	54.2	52.5	21.7	43.3	15.8	3.3	15.8	27.5	22.5	33.3	20.8	15.8	14.2	23.3	16.7	25.0	45.0	35.8	68.3	
		広島県（令和7年度）	(172)	48.9	40.3	40.3	28.4	21.0	21.0	15.9	10.8	14.2	22.2	21.0	25.6	18.2	14.8	40.3	45.5	37.5	50.6	53.4	60.8	69.3	
	40代	全国（令和6年度）	(182)	83.0	70.3	62.1	50.0	39.0	45.6	12.6	3.8	8.8	17.0	21.4	23.1	19.8	7.7	13.2	20.9	20.9	28.6	37.9	34.6	78.6	
		広島県（令和7年度）	(207)	57.1	48.1	45.7	39.0	31.9	33.3	16.7	6.2	10.0	14.3	15.2	13.8	11.9	9.5	36.7	41.9	40.0	45.7	54.3	54.8	73.8	
	50代	全国（令和6年度）	(233)	81.1	70.4	63.1	56.2	37.8	47.6	15.5	3.4	6.0	7.7	10.3	14.6	10.7	8.2	15.0	21.9	27.5	32.6	47.2	40.8	75.1	
		広島県（令和7年度）	(233)	61.7	58.3	54.5	39.1	38.3	35.7	14.5	6.8	7.2	11.5	14.5	13.6	9.8	11.5	31.5	34.5	34.0	46.4	48.1	54.5	74.0	
60代	全国（令和6年度）	(219)	84.9	79.9	74.0	59.4	47.9	60.7	14.2	3.7	3.7	5.0	12.8	9.1	8.2	5.9	11.0	14.2	18.3	27.4	42.5	30.6	78.1		
	広島県（令和7年度）	(181)	69.0	63.0	57.6	48.9	42.4	46.2	11.4	4.3	4.9	6.5	7.6	10.9	6.5	7.1	26.6	32.1	35.9	43.5	46.7	47.3	81.5		
令和6年度調査 全国女性全体		(1,053)	94.0	87.5	83.9	67.7	61.0	69.8	26.3	1.4	1.8	3.9	7.3	8.3	6.5	4.3	4.3	10.0	11.6	24.5	30.4	23.6	68.7		
令和7年度調査 広島県女性全体		(968)	85.0	76.8	77.0	59.0	61.9	58.2	28.5	1.5	3.7	4.4	8.0	6.7	6.5	5.3	13.5	19.4	18.7	33.0	31.4	35.4	66.2		
女性 × 年代別	18～29歳	全国（令和6年度）	(138)	90.6	73.9	75.4	60.9	50.7	10.1	1.4	3.6	5.1	10.1	13.0	10.9	5.1	8.0	21.7	18.8	29.0	36.2	37.0	84.8		
		広島県（令和7年度）	(180)	77.1	60.0	62.0	48.9	53.9	37.5	25.0	2.6	7.5	9.8	14.9	9.4	12.7	11.5	20.3	32.4	28.2	36.2	36.7	49.9	63.5	
	30代	全国（令和6年度）	(174)	95.4	87.9	79.9	67.2	55.2	65.5	22.4	1.1	-	4.6	8.0	11.5	6.9	4.0	3.4	11.5	14.9	24.7	33.3	27.6	73.6	
		広島県（令和7年度）	(158)	84.5	76.8	74.2	48.4	58.1	48.4	23.9	2.6	3.2	3.9	12.9	7.7	8.4	5.2	12.9	20.0	21.9	38.7	34.2	43.2	71.0	
	40代	全国（令和6年度）	(233)	92.7	88.4	82.8	65.7	59.7	70.0	27.5	2.6	1.7	5.2	8.2	9.4	8.2	5.6	3.4	9.4	11.6	24.9	30.0	21.5	65.7	
		広島県（令和7年度）	(203)	87.4	80.4	79.4	61.8	65.3	62.8	28.6	0.5	4.0	3.0	7.5	10.1	6.5	6.0	12.1	15.6	17.6	30.7	24.6	30.7	65.3	
	50代	全国（令和6年度）	(257)	94.2	89.9	87.5	68.5	68.1	76.3	32.3	1.2	1.2	2.3	4.7	7.4	5.8	2.3	4.7	8.2	9.7	26.8	24.5	17.9	64.6	
		広島県（令和7年度）	(234)	90.4	81.7	85.6	64.2	67.7	69.4	32.3	0.9	2.2	1.7	1.7	4.4	1.7	2.2	8.7	16.2	12.7	34.1	27.9	28.8	65.5	
60代	全国（令和6年度）	(251)	96.0	91.6	88.8	72.9	64.5	75.7	30.7	0.8	2.8	3.2	7.2	3.6	2.8	4.8	3.2	4.8	7.2	19.1	31.5	21.1	63.3		
	広島県（令和7年度）	(192)	83.5	83.0	80.3	68.1	61.7	67.0	30.9	1.6	2.1	4.3	5.3	2.7	4.8	2.7	14.9	14.9	15.4	26.6	35.6	28.2	66.5		

※全国男性・女性全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値
 ※「令和7年度調査 広島県全体(男性優遇計)」のスコアで降順ソート

男女の地位の平等感_属性優遇【エリア別】

- エリア別でみると、広島県全体は各エリアと比較して、「政治の場で」、「社会通念・慣習・しきたりなどで」、「社会全体で」、「職場で」、「家庭生活で」の男性優遇のスコアが低く、平等のスコアが高い。
- 女性優遇のスコアでみると5pt差がある項目は少なく、全国と広島県の差は小さい。

男性優遇計

[比率の差]		n	政治 の 場 で	社会 通念・ 慣習・ しきたり などで	社会 全体 で	職 場 で	法律 や制度 上で	家庭 生活 で	学校 教育 の場 で
令和7年度調査	広島県全体+10ポイント								
令和7年度調査	広島県全体+5ポイント								
令和7年度調査	広島県全体-5ポイント								
令和7年度調査	広島県全体-10ポイント								
令和7年度調査 広島県全体		(1,962)	71.0	63.0	61.6	47.8	46.8	45.0	21.3
令和6年度調査 全国全体		(1,921)	88.8	79.1	73.9	60.3	49.9	59.6	20.7
エリア別	北海道	(126)	88.9	70.6	70.6	65.1	46.0	57.9	25.4
	東北	(184)	86.4	76.6	73.9	66.8	52.2	63.0	26.6
	関東	(900)	86.3	75.2	73.7	61.2	49.7	57.9	21.3
	北陸	(116)	84.5	76.7	74.1	64.7	46.6	63.8	13.8
	東山	(111)	84.7	85.6	72.1	69.4	53.2	66.7	23.4
	東海	(263)	85.2	82.9	75.7	62.7	47.5	62.4	23.6
	近畿	(442)	90.7	79.0	74.7	66.5	47.5	57.9	20.8
	中国	(156)	91.0	78.2	75.6	61.5	51.3	62.2	22.4
	四国	(75)	88.0	78.7	82.7	65.3	68.0	57.3	22.7
九州	(300)	92.0	84.0	78.3	64.3	55.3	68.3	21.7	

女性優遇計

(%)						
政治の 場で	社会通念・ 慣習・ しきたり などで	社会 全体で	職場 で	法律 や制度 上で	家庭 生活で	学校 教育の 場で
4.9	7.1	10.1	11.8	12.4	9.7	9.0
2.4	4.7	8.6	11.4	13.8	10.1	7.2
1.6	2.4	5.6	10.3	10.3	8.7	10.3
1.1	2.2	3.8	5.4	9.8	5.4	6.0
2.3	4.6	8.1	8.9	11.2	9.1	6.3
3.4	6.9	6.0	12.9	12.1	7.8	3.4
3.6	1.8	7.2	10.8	9.9	6.3	3.6
2.3	5.3	8.7	9.5	12.9	10.6	6.1
1.8	3.2	6.8	9.3	12.2	12.0	5.4
1.3	3.8	6.4	10.3	7.7	6.4	4.5
2.7	5.3	2.7	9.3	4.0	9.3	4.0
2.0	3.0	5.3	9.3	9.7	8.0	8.0

平等

(%)						
政治の 場で	社会通念・ 慣習・ しきたり などで	社会 全体で	職場 で	法律 や制度 上で	家庭 生活で	学校 教育の 場で
24.1	29.9	28.3	40.3	40.8	45.3	69.7
8.4	15.2	16.5	27.7	36.0	30.0	71.2
9.5	25.4	21.4	23.8	42.9	33.3	63.5
12.0	18.5	19.6	26.6	38.0	31.5	66.3
10.7	18.7	16.6	28.6	38.6	32.7	70.7
12.1	15.5	18.1	21.6	41.4	28.4	80.2
10.8	11.7	19.8	17.1	36.9	27.0	68.5
12.2	10.6	14.4	27.4	38.8	26.6	68.8
6.8	16.3	16.7	22.6	39.1	29.6	72.2
5.8	16.0	16.0	26.3	39.7	30.8	71.8
9.3	16.0	14.7	25.3	28.0	33.3	73.3
5.3	11.0	14.3	25.7	34.3	23.3	69.0

※エリア別については、18～70代以上を含めたデータ

※全国全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値

※「令和7年度調査 広島県全体(男性優遇計)」のスコアで降順ソート

男女の地位の平等感_属性優遇【エリア×性別】

- エリア別×男性でみると、広島県男性全体は各エリアと比較して、「政治の場で」、「社会通念・慣習・しきたりなどで」、「社会全体で」、「職場で」、「家庭生活で」の男性優遇のスコアが低く、平等のスコアが高い。
- エリア別×女性でみると、女性全体は各エリアと比較して、女性優遇のスコアで5pt差がある項目はほぼなく、全国と広島県の差は小さい。

男性優遇計

女性優遇計

平等

		n							(%)
[比率の差]			政治の場で	社会通念・慣習・しきたりなどで	社会全体で	職場で	法律や制度上で	家庭生活で	学校教育の場で
■	令和7年度調査 広島県全体+10ポイント								
■	令和7年度調査 広島県全体+5ポイント								
■	令和7年度調査 広島県全体-5ポイント								
■	令和7年度調査 広島県全体-10ポイント								
令和7年度調査 広島県全体		(1,962)	71.0	63.0	61.6	47.8	46.8	45.0	21.3
令和6年度調査 全国全体		(1,921)	88.8	79.1	73.9	60.3	49.9	59.6	20.7
令和7年度調査 広島県男性全体		(994)	57.3	49.5	46.6	36.9	32.1	32.2	14.4
令和6年度調査 全国男性全体		(868)	82.5	68.8	61.7	51.4	36.5	47.2	13.9
エリア別 × 男性	北海道	(62)	82.3	66.1	59.7	58.1	41.9	43.5	22.6
	東北	(96)	80.2	70.8	63.5	62.5	40.6	50.0	21.9
	関東	(422)	82.0	67.1	62.3	52.4	41.0	49.1	14.9
	北陸	(52)	78.8	67.3	65.4	59.6	36.5	53.8	15.4
	東山	(46)	76.1	73.9	58.7	67.4	41.3	50.0	13.0
	東海	(119)	77.3	77.3	63.0	51.3	35.3	47.9	16.8
	近畿	(207)	85.0	69.1	64.7	60.4	34.8	46.4	16.4
	中国	(64)	92.2	68.8	71.9	59.4	42.2	62.5	18.8
	四国	(33)	78.8	72.7	84.8	54.5	60.6	45.5	9.1
	九州	(132)	88.6	75.0	69.7	59.8	41.7	57.6	15.9
令和7年度調査 広島県女性全体		(968)	85.0	76.8	77.0	59.0	61.9	58.2	28.5
令和6年度調査 全国女性全体		(1,053)	94.0	87.5	83.9	67.7	61.0	69.8	26.3
エリア別 × 女性	北海道	(64)	95.3	75.0	81.3	71.9	50.0	71.9	28.1
	東北	(88)	93.2	83.0	85.2	71.6	64.8	77.3	31.8
	関東	(478)	90.2	82.4	83.7	69.0	57.3	65.7	27.0
	北陸	(64)	89.1	84.4	81.3	68.8	54.7	71.9	12.5
	東山	(65)	90.8	93.8	81.5	70.8	61.5	78.5	30.8
	東海	(144)	91.7	87.5	86.1	72.2	57.6	74.3	29.2
	近畿	(235)	95.7	87.7	83.4	71.9	58.7	68.1	24.7
	中国	(92)	90.2	84.8	78.3	63.0	57.6	62.0	25.0
	四国	(42)	95.2	83.3	81.0	73.8	73.8	66.7	33.3
	九州	(168)	94.6	91.1	85.1	67.9	66.1	76.8	26.2

							(%)
政治の場で	社会通念・慣習・しきたりなどで	社会全体で	職場で	法律や制度上で	家庭生活で	学校教育の場で	
4.9	7.1	10.1	11.8	12.4	9.7	9.0	
2.4	4.7	8.6	11.4	13.8	10.1	7.2	
8.2	10.4	15.7	15.6	17.9	12.8	12.5	
3.7	8.3	14.4	16.5	20.5	14.5	10.7	
3.2	4.8	9.7	16.1	12.9	11.3	12.9	
2.1	1.0	5.2	4.2	9.4	6.3	9.4	
3.6	7.8	12.6	12.6	17.1	13.0	9.5	
1.9	7.7	9.6	19.2	15.4	7.7	3.8	
4.3	4.3	10.9	13.0	13.0	10.9	4.3	
4.2	7.6	16.8	14.3	21.8	16.8	10.9	
2.4	5.8	11.6	14.5	16.9	16.4	6.8	
-	6.3	12.5	10.9	9.4	7.8	6.3	
3.0	6.1	-	12.1	6.1	3.0	3.0	
4.5	6.8	9.1	14.4	15.2	11.4	9.8	
1.5	3.7	4.4	8.0	6.7	6.5	5.3	
1.4	1.8	3.9	7.3	8.3	6.5	4.3	
-	-	1.6	4.7	7.8	6.3	7.8	
-	3.4	2.3	6.8	10.2	4.5	2.3	
1.3	1.7	4.2	5.6	6.1	5.6	3.6	
4.7	6.3	3.1	7.8	9.4	7.8	3.1	
3.1	-	4.6	9.2	7.7	3.1	3.1	
0.7	3.5	2.1	5.6	5.6	5.6	2.1	
1.3	0.9	2.6	4.7	8.1	8.1	4.3	
2.2	2.2	2.2	9.8	6.5	5.4	3.3	
2.4	4.8	4.8	7.1	2.4	14.3	4.8	
-	-	2.4	5.4	5.4	5.4	6.5	

							(%)
政治の場で	社会通念・慣習・しきたりなどで	社会全体で	職場で	法律や制度上で	家庭生活で	学校教育の場で	
24.1	29.9	28.3	40.3	40.8	45.3	69.7	
8.4	15.2	16.5	27.7	36.0	30.0	71.2	
34.5	40.1	37.7	47.5	50.0	55.0	73.1	
13.5	21.6	22.5	31.7	42.7	37.9	74.3	
14.5	27.4	27.4	24.2	45.2	45.2	64.5	
17.7	26.0	29.2	32.3	50.0	43.8	67.7	
14.0	23.5	23.2	33.2	41.7	37.4	73.7	
19.2	23.1	21.2	21.2	48.1	38.5	80.8	
19.6	19.6	28.3	19.6	45.7	39.1	80.4	
18.5	13.4	19.3	34.5	42.0	35.3	69.7	
12.1	22.2	20.8	24.6	47.3	36.7	75.8	
7.8	21.9	12.5	29.7	48.4	29.7	75.0	
18.2	21.2	15.2	33.3	33.3	51.5	87.9	
6.1	15.2	18.2	25.0	42.4	31.1	74.2	
13.5	19.4	18.7	33.0	31.4	35.4	66.2	
4.3	10.0	11.6	24.5	30.4	23.6	68.7	
4.7	23.4	15.6	23.4	40.6	21.9	62.5	
5.7	10.2	9.1	20.5	25.0	18.2	64.8	
7.7	14.4	10.7	24.5	35.8	28.5	68.0	
6.3	9.4	15.6	21.9	35.9	20.3	79.7	
4.6	6.2	13.8	15.4	30.8	18.5	60.0	
6.9	8.3	10.4	21.5	36.1	19.4	68.1	
2.1	11.1	13.2	20.9	31.9	23.4	68.9	
4.3	12.0	18.5	23.9	33.7	31.5	69.6	
2.4	11.9	14.3	19.0	23.8	19.0	61.9	
4.8	7.7	11.3	26.2	28.0	17.3	64.9	

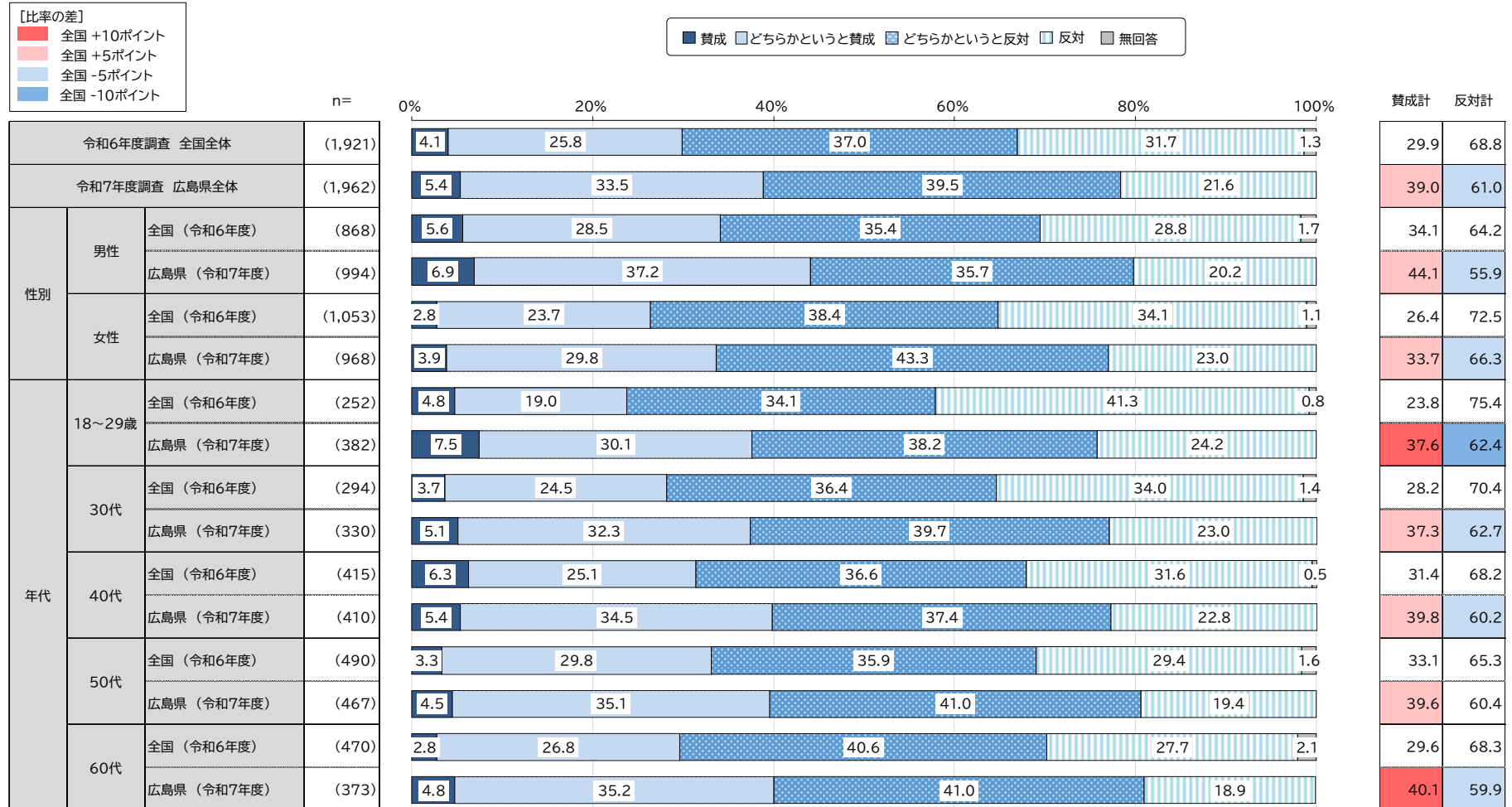
※エリア別×男性・女性については、18～70代以上を含めたデータ

※全国男性・女性全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値

※「令和7年度調査 広島県全体(男性優遇計)」のスコアで降順ソート

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」【性別・年代別】

- 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」に対する意見について、広島県全体では『賛成計』が39%、『反対計』が61%と全国全体と比較して、『賛成計』がやや高く、『反対計』が低い。
- 性別、年代別でも同様の傾向が見られる。特に、18～29歳、60代では他の年代と比較して、全国と広島県の差が大きい。



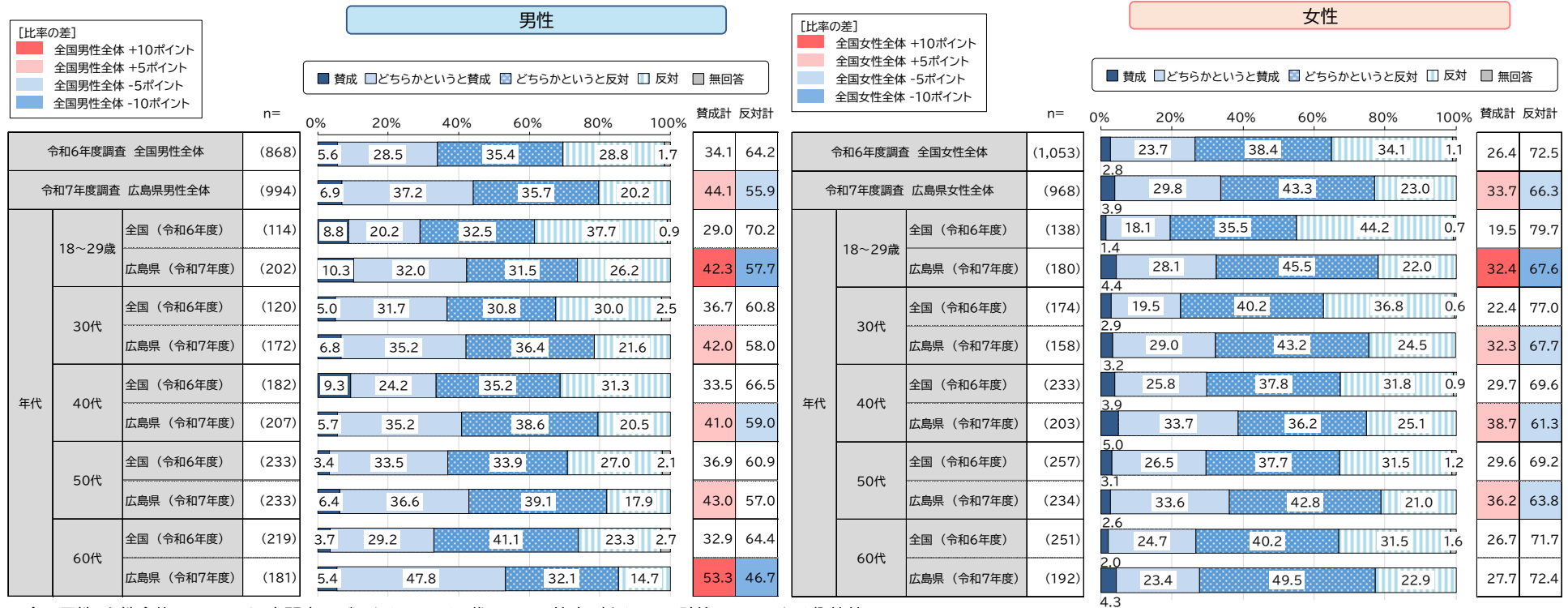
※全国全体・性別については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値

※賛成計:「賛成」+「どちらかという賛成」

※反対計:「どちらかという反対」+「反対」

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」【性年代別】

- 年代別×男性でみると、すべての年代で全国と比較して、『賛成計』が高く、『反対計』が低い。
- 年代別×女性でみると、60代を除く年代で全国と比較して、『賛成計』が高く、『反対計』が低い。
- 女性の60代は他の年代と比較すると、全国と広島県の差は小さい。



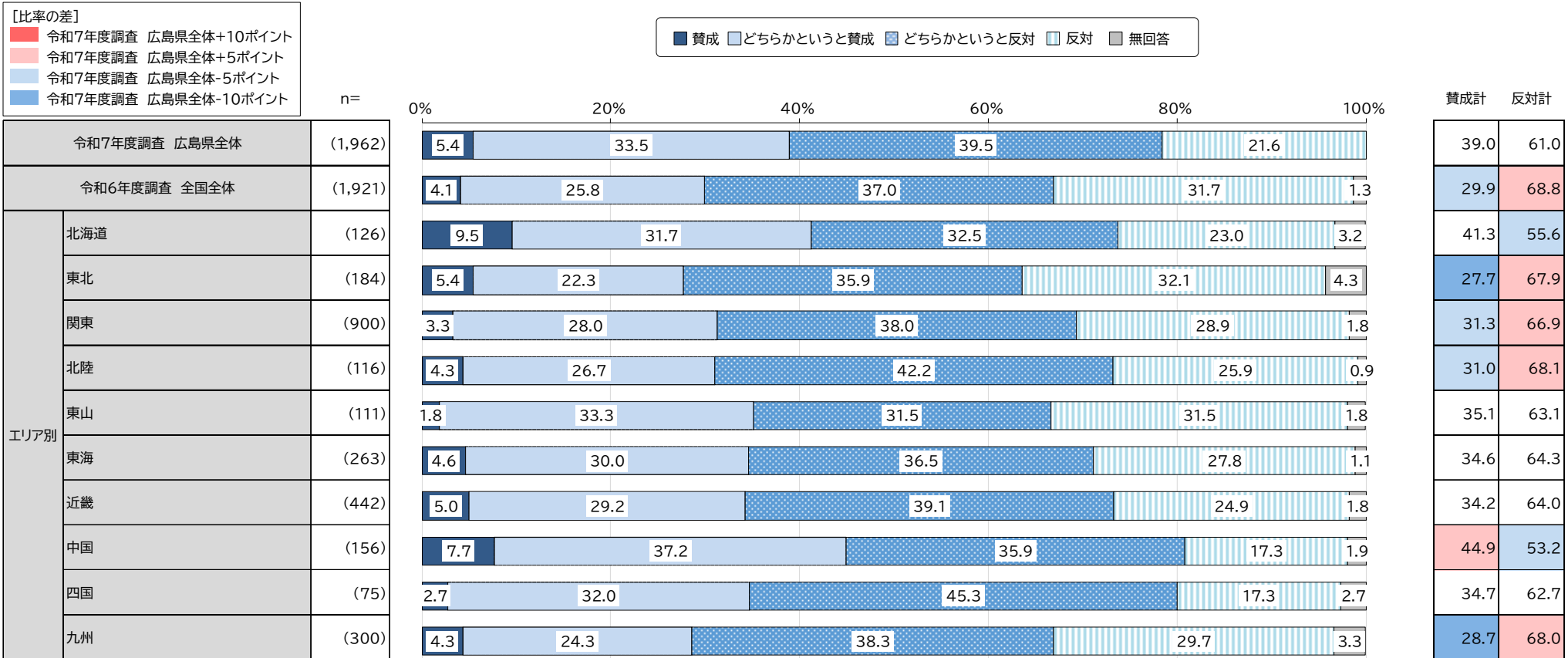
※全国男性・女性全体については、内閣府のデータを18~60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値

※賛成計:「賛成」+「どちらかという賛成」

※反対計:「どちらかという反対」+「反対」

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」【エリア別】

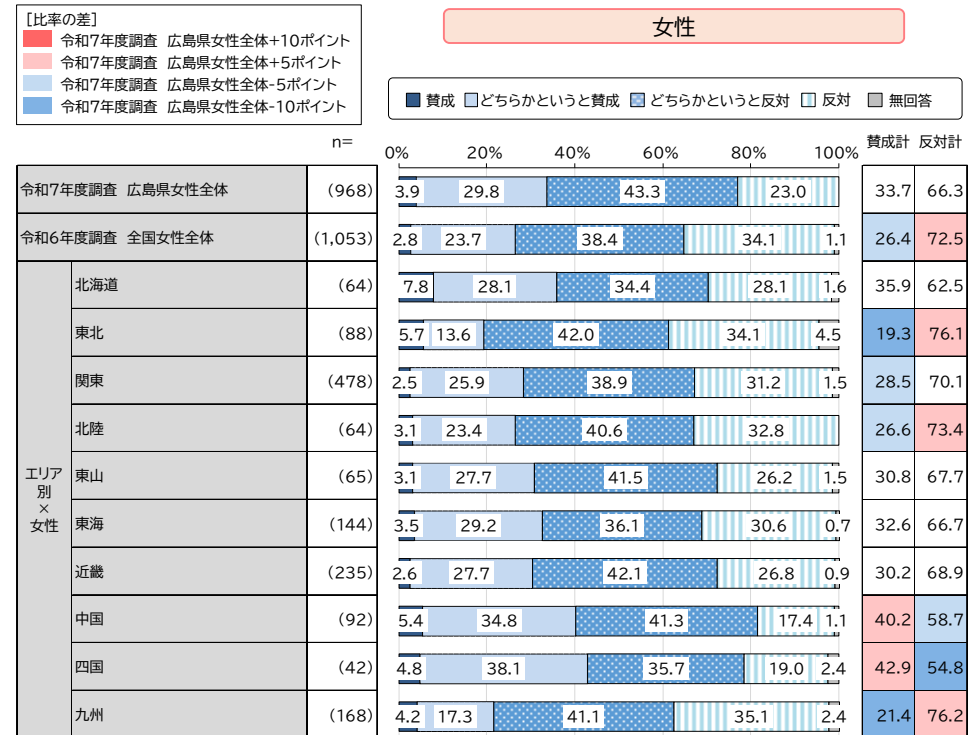
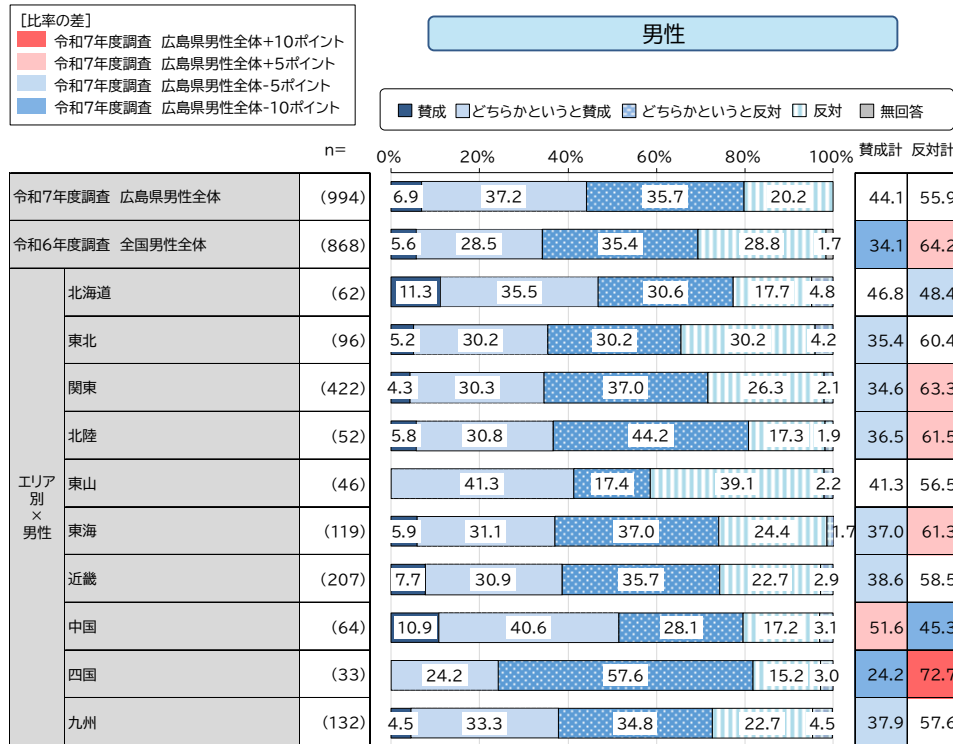
- 広島県全体は全国と比較して、『賛成計』が高く、『反対計』が低い。
- エリア別でみると、広島県全体は東北、九州と比較して、『賛成計』が高い。



※エリア別については、18～70代以上を含めたデータ
 ※全国全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値
 ※賛成計:「賛成」+「どちらかという賛成」
 ※反対計:「どちらかという反対」+「反対」

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」【エリア×性別】

- エリア別×男性でみると、広島県男性全体と比較して四国で『賛成計』、『反対計』の差が最も大きい。
- エリア別×女性でみると、広島県女性全体と比較して東北、九州で『賛成計』の差が大きい。



※エリア別については、18～70代以上を含めたデータ

※全国男性・女性全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値

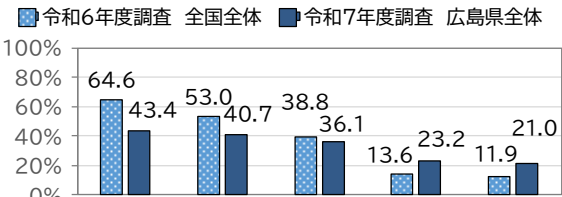
※賛成計:「賛成」+「どちらかという賛成」

※反対計:「どちらかという反対」+「反対」

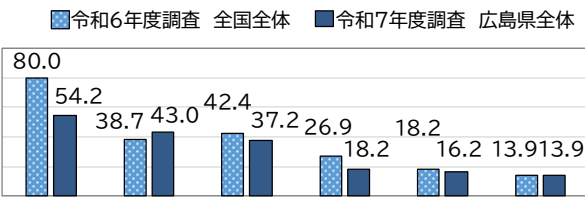
賛成・反対理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」【性別・年代別】

- 賛成理由について、広島県全体は全国と比較して、「育児・介護・家事と両立～」、「妻が家庭を守った方が～」が低く、「日本の伝統的な～」、「自分の両親も役割分担～」が高い。男性と18～29歳、40～60代でも同様の傾向が見られる。
- 反対理由について、広島県全体は全国と比較して、「固定的な夫と妻の役割分担～」、「妻が働いて能力を発揮～」が低い。30代を除いた性別や年代別でも同様の傾向が見られる。

賛成理由



反対理由



[比率の差]

全国 +10ポイント
全国 +5ポイント
全国 -5ポイント
全国 -10ポイント

		n	大妻が働きたいと思えることは	両立し続けることは	育児・介護・家事と両立し続けることは	妻が家庭を守った方が～	日本の伝統的な家族の在り方だと思えるから	夫が外で働くのを助けてくれるから	多岐にわたる収入を得られるから	思われるから	自分の両親も役割分担～
令和6年度調査 全国全体		(574)	64.6	53.0	38.8	13.6	11.9				
令和7年度調査 広島県全体		(765)	43.4	40.7	36.1	23.2	21.0				
性別	男性	全国 (令和6年度)	(296)	57.8	54.0	35.5	18.6	14.5			
		広島県 (令和7年度)	(439)	34.9	39.0	32.1	30.5	27.4			
	女性	全国 (令和6年度)	(278)	72.0	51.8	42.4	8.3	9.0			
		広島県 (令和7年度)	(326)	54.8	43.1	41.5	13.5	12.5			
年代	18～29歳	全国 (令和6年度)	(60)	70.0	40.0	33.3	11.7	21.7			
		広島県 (令和7年度)	(144)	40.3	30.8	31.1	26.8	31.1			
	30代	全国 (令和6年度)	(83)	72.3	41.0	31.3	8.4	15.7			
		広島県 (令和7年度)	(123)	52.7	39.6	33.1	16.8	24.9			
	40代	全国 (令和6年度)	(130)	56.2	53.1	42.3	16.9	10.0			
		広島県 (令和7年度)	(163)	46.1	34.3	35.8	23.1	18.3			
	50代	全国 (令和6年度)	(162)	64.8	56.8	43.8	13.6	9.9			
		広島県 (令和7年度)	(185)	39.8	46.2	37.5	23.2	17.2			
	60代	全国 (令和6年度)	(139)	65.5	61.2	36.7	14.4	9.4			
		広島県 (令和7年度)	(149)	40.2	51.4	41.9	25.2	15.8			

		n	妻が働いて能力を発揮～	男が平等に反すると	多岐にわたる収入を得られるから	夫が外で働くのを助けてくれるから	思われるから	自分の両親も役割分担～	日本の伝統的な家族の在り方だと思えるから	大妻が働きたいと思えることは	両立し続けることは
令和6年度調査 全国全体		(1,321)	80.0	38.7	42.4	26.9	18.2	13.9			
令和7年度調査 広島県全体		(1,197)	54.2	43.0	37.2	18.2	16.2	13.9			
性別	男性	(557)	74.0	37.0	41.9	31.8	17.4	11.5			
		(556)	45.1	46.6	37.4	20.7	15.4	12.4			
	女性	(764)	84.4	40.0	42.8	23.3	18.7	15.7			
		(642)	62.0	39.8	37.1	16.0	16.9	15.2			
年代	18～29歳	(190)	77.9	37.9	39.5	20.5	22.6	10.0			
		(238)	51.2	46.8	39.6	13.7	25.7	11.7			
	30代	(207)	87.0	34.3	50.7	23.7	22.2	15.9			
		(207)	58.1	37.6	43.6	20.7	22.3	14.0			
	40代	(283)	85.2	35.3	42.4	25.8	19.4	16.3			
		(247)	53.0	45.1	37.7	20.7	15.0	15.4			
	50代	(320)	80.6	43.4	40.3	26.9	17.5	11.9			
		(282)	55.8	40.6	34.6	17.8	11.4	13.2			
	60代	(321)	71.7	40.2	40.8	33.6	12.5	15.0			
		(224)	52.9	44.5	31.6	18.5	7.7	15.4			

※全国全体・性別については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値
※「令和7年度調査 広島県全体」のスコアで降順ソート

賛成・反対理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」【性年代別】

- 賛成理由について男性×年代別でみると、60代は全国と比較して、「夫が外で働いた方が～」が高い。また、30～40代を除く年代は全国と比較して、「育児・介護・家庭と両立～」、「妻が家庭を守った方が～」が低く、「日本の伝統的な～」、「自分の両親も役割分担～」が高い。一方、女性×年代別でみると、いずれの年代でも全国と比較して、「育児・介護・家事と両立～」が低い。
- 反対理由について女性×年代別でみると、いずれの年代でも全国と比較して、「固定的な夫と妻の役割分担～」、「妻が働いて能力を発揮～」が低い。

賛成理由

【比率の差】	
■	全国 +10ポイント
■	全国 +5ポイント
■	全国 -5ポイント
■	全国 -10ポイント

令和6年度調査 全国全体			(574)	64.6	53.0	38.8	13.6	11.9
令和7年度調査 広島県全体			(765)	43.4	40.7	36.1	23.2	21.0
令和6年度調査 全国男性全体			(296)	57.8	54.0	35.5	18.6	14.5
令和7年度調査 広島県男性全体			(439)	34.9	39.0	32.1	30.5	27.4
男性 × 年代別	18～29歳	全国（令和6年度）	(33)	69.7	39.4	33.3	12.1	24.2
		広島県（令和7年度）	(85)	33.2	22.6	24.3	30.9	37.0
	30代	全国（令和6年度）	(44)	63.6	38.6	31.8	15.9	18.2
		広島県（令和7年度）	(72)	43.2	37.8	31.1	20.3	28.4
	40代	全国（令和6年度）	(61)	41.0	55.7	36.1	24.6	9.8
		広島県（令和7年度）	(85)	40.7	34.9	22.1	33.7	23.3
	50代	全国（令和6年度）	(86)	54.7	61.6	38.4	19.8	12.8
		広島県（令和7年度）	(100)	28.7	46.5	36.6	33.7	26.7
	60代	全国（令和6年度）	(72)	66.7	59.7	34.7	16.7	13.9
		広島県（令和7年度）	(96)	31.6	50.0	43.9	31.6	22.4
令和6年度調査 全国女性全体			(278)	72.0	51.8	42.4	8.3	9.0
令和7年度調査 広島県女性全体			(326)	54.8	43.1	41.5	13.5	12.5
女性 × 年代別	18～29歳	全国（令和6年度）	(27)	70.4	40.7	33.3	11.1	18.5
		広島県（令和7年度）	(59)	50.7	42.8	41.0	20.9	22.6
	30代	全国（令和6年度）	(39)	82.1	43.6	30.8	-	12.8
		広島県（令和7年度）	(51)	66.0	42.0	36.0	12.0	20.0
	40代	全国（令和6年度）	(69)	69.6	50.7	47.8	10.1	10.1
		広島県（令和7年度）	(79)	51.9	33.8	50.6	11.7	13.0
	50代	全国（令和6年度）	(76)	76.3	51.3	50.0	6.6	6.6
		広島県（令和7年度）	(85)	53.0	45.8	38.6	10.8	6.0
	60代	全国（令和6年度）	(67)	64.2	62.7	38.8	11.9	4.5
		広島県（令和7年度）	(53)	55.8	53.8	38.5	13.5	3.8

反対理由

n	育 児 ・ 介 護 ・ 家 事 と 両 立 し な が ら 、 妻 が 働 き 続 け る こ と は	自 分 の 両 親 も 外 で 働 い て い た か ら	妻 が 働 い て 能 力 を 発 揮 し た 方 が 、 良 い 人 や 社 会 に と つ て	夫 も 妻 も 働 い た 方 が 、 多 く の 収 入 が 得 ら れ る こ と 思 う か ら	男 女 平 等 に 反 す と 思 う か ら	固 定 的 な 夫 と 妻 の 役 割 分 担 の 意 識 を は な し つ け る べ き で は な い か ら
(1,321)	80.0	38.7	42.4	26.9	18.2	13.9
(1,197)	54.2	43.0	37.2	18.2	16.2	13.9
(557)	74.0	37.0	41.9	31.8	17.4	11.5
(556)	45.1	46.6	37.4	20.7	15.4	12.4
(80)	72.5	40.0	38.8	23.8	22.5	6.3
(116)	46.2	48.2	32.8	12.5	20.3	6.9
(73)	86.3	26.0	53.4	26.0	16.4	19.2
(99)	51.0	41.2	38.2	23.5	18.6	15.7
(121)	79.3	32.2	39.7	28.9	23.1	13.2
(122)	41.1	46.0	43.5	23.4	17.7	16.1
(142)	71.8	42.3	45.1	34.5	19.0	10.6
(133)	48.5	45.5	39.6	24.6	13.4	11.9
(141)	66.0	39.7	36.2	39.0	8.5	9.9
(84)	37.2	53.5	30.2	18.6	4.7	11.6
(764)	84.4	40.0	42.8	23.3	18.7	15.7
(642)	62.0	39.8	37.1	16.0	16.9	15.2
(110)	81.8	36.4	40.0	18.2	22.7	12.7
(122)	56.0	45.5	46.1	14.8	30.9	16.4
(134)	87.3	38.8	49.3	22.4	25.4	14.2
(107)	64.8	34.3	48.6	18.1	25.7	12.4
(162)	89.5	37.7	44.4	23.5	16.7	18.5
(124)	64.8	44.3	32.0	18.0	12.3	14.8
(178)	87.6	44.4	36.5	20.8	16.3	12.9
(149)	62.3	36.3	30.1	11.6	9.6	14.4
(180)	76.1	40.6	44.4	29.4	15.6	18.9
(139)	62.5	39.0	32.4	18.4	9.6	17.6

※全国全体・性別については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値
 ※「令和7年度調査 広島県全体」のスコアで降順ソート

賛成・反対理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」【エリア別】

- 賛成理由についてエリア別でみると、広島県全体は全てのエリアと比較して、「育児・介護・家事と両立～」が低い。
- 反対理由についてエリア別でみると、広島県全体は全てのエリアと比較して、「固定的な夫と妻の役割分担～」が低い。また、九州と比較して、「男女平等に反すると思うから」は高い。

賛成理由

[比率の差]			n	大妻両育 変が立児・ だ働し介 と思ながら う続け護・ る家事 ことはと	良こ妻 いども家 いと思庭 うか成長 から守 なつた に方 とが て	多夫 うくが か外 ら収 入 を 得 た 方 が と	在日 り本 方だ と統 思計 う族 な	役自 割分 担の を親 も し て い た か ら
令和7年度調査	広島県全体+10ポイント		(765)	43.4	40.7	36.1	23.2	21.0
令和6年度調査	全国全体		(574)	64.6	53.0	38.8	13.6	11.9
エリア別	北海道		(52)	55.8	51.9	34.6	25.0	5.8
	東北		(51)	56.9	47.1	41.2	21.6	15.7
	関東		(282)	64.5	58.5	42.9	14.9	14.5
	北陸		(36)	63.9	61.1	33.3	11.1	11.1
	東山		(39)	56.4	59.0	38.5	20.5	17.9
	東海		(91)	65.9	51.6	39.6	20.9	16.5
	近畿		(151)	54.3	59.6	38.4	19.2	14.6
	中国		(70)	68.6	52.9	38.6	14.3	8.6
	四国		(26)	73.1	46.2	38.5	23.1	15.4
	九州		(86)	55.8	55.8	33.7	18.6	5.8

※エリア別については、18～70代以上を含めたデータ
 ※全国全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値
 ※「令和7年度 広島県全体」のスコアで降順ソート

反対理由

n	な押役固 いし割定の っけ担な るの夫と べき意妻 で識を の	思男 う女 か平 ら等 に 反 す る と	多夫 うく か妻 ら収 も 入 働 い た 方 が と	良個能妻 いと人力を 思やを働 う社発 か会揮 からに とた つ方 が	働自 いて分の の両 た親 かも ら外 で	可妻両育 能が立児・ だ働し介 と思ながら う続け護・ る家事 ことはと
(1,197)	54.2	43.0	37.2	18.2	16.2	13.9
(1,321)	80.0	38.7	42.4	26.9	18.2	13.9
(70)	78.6	41.4	41.4	27.1	14.3	15.7
(125)	76.0	48.8	42.4	34.4	18.4	12.8
(602)	78.6	38.4	38.0	31.1	15.3	14.1
(79)	68.4	41.8	49.4	20.3	24.1	17.7
(70)	74.3	47.1	47.1	30.0	15.7	14.3
(169)	79.9	46.2	42.6	23.7	14.2	9.5
(283)	79.9	40.6	49.5	29.7	14.8	18.4
(83)	74.7	50.6	44.6	25.3	19.3	18.1
(47)	72.3	40.4	51.1	27.7	12.8	10.6
(204)	74.0	31.9	45.1	25.0	20.1	15.2

賛成・反対理由「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」【エリア×性別】

- 賛成理由についてエリア別×男性でみると、広島県全体は全てのエリアと比較して、「育児・介護・家事と両立～」、「妻が家庭を守った方が～」が低い。また、エリア別×女性でみると、広島県全体は東北以外のエリアと比較して、「育児・介護・家事と両立～」が低い。
- 反対理由についてエリア別×男性及び女性でみると、広島県全体は全てのエリアと比較して、「固定的な夫と妻の役割分担～」が低い。

賛成理由

[比率の差]		n	大妻両育良こ妻思多夫在日役自 変が立児いどがくががり割分 だ働し・介と家がの外で分 んきなが・護うの庭を入働の と続けること家事とら方得ら方 うから、はとたがらる、 は	こ い の 思 う か ら な ど に た 方 が と っ て	夫 が 外 で 働 い た 方 が 、 多 く の 収 入 を 得 ら れ る と 思 う か ら	多 く の 収 入 を 得 ら れ る と 思 う か ら	日 本 の 伝 統 的 な 家 族 の 在 り 方 だ と 思 う か ら	役 割 分 担 を し て い た か ら
■ 令和7年度調査 広島県全体+10ポイント								
■ 令和7年度調査 広島県全体+5ポイント								
■ 令和7年度調査 広島県全体-5ポイント								
■ 令和7年度調査 広島県全体-10ポイント								
令和7年度調査 広島県全体			(765)	43.4	40.7	36.1	23.2	21.0
令和6年度調査 全国全体			(574)	64.6	53.0	38.8	13.6	11.9
令和7年度調査 広島県男性全体			(439)	34.9	39.0	32.1	30.5	27.4
令和6年度調査 全国男性全体			(296)	57.8	54.0	35.5	18.6	14.5
エリア別 × 男性	北海道		(29)	51.7	48.3	34.5	34.5	6.9
	東北		(34)	64.7	41.2	38.2	26.5	14.7
	関東		(146)	56.2	61.0	41.1	19.2	17.8
	北陸		(19)	52.6	63.2	31.6	15.8	10.5
	東山		(19)	47.4	63.2	42.1	15.8	31.6
	東海		(44)	56.8	59.1	31.8	22.7	13.6
	近畿		(80)	46.3	60.0	35.0	26.3	18.8
	中国		(33)	66.7	51.5	33.3	15.2	12.1
	四国		(8)	75.0	62.5	25.0	12.5	12.5
	九州		(50)	50.0	56.0	36.0	26.0	6.0
令和7年度調査 広島県女性全体			(326)	54.8	43.1	41.5	13.5	12.5
令和6年度調査 全国女性全体			(278)	72.0	51.8	42.4	8.3	9.0
エリア別 × 女性	北海道		(23)	60.9	56.5	34.8	13.0	4.3
	東北		(17)	41.2	58.8	47.1	11.8	17.6
	関東		(136)	73.5	55.9	44.9	10.3	11.0
	北陸		(17)	76.5	58.8	35.3	5.9	11.8
	東山		(20)	65.0	55.0	35.0	25.0	5.0
	東海		(47)	74.5	44.7	46.8	19.1	19.1
	近畿		(71)	63.4	59.2	42.3	11.3	9.9
	中国		(37)	70.3	54.1	43.2	13.5	5.4
	四国		(18)	72.2	38.9	44.4	27.8	16.7
	九州		(36)	63.9	55.6	30.6	8.3	5.6

反対理由

n	ない押役固思男多夫良個能妻働自働可 からいつけ割定のう女くも人力をがいて能 からける分のなから等妻収とやを働いただ はべきの夫と妻の意識は	思男多夫良個能妻働自働可 う女くも人力をがいて能 から等妻収とやを働いただ に反する	思男多夫良個能妻働自働可 う女くも人力をがいて能 から等妻収とやを働いただ に反する	思男多夫良個能妻働自働可 う女くも人力をがいて能 から等妻収とやを働いただ に反する	思男多夫良個能妻働自働可 う女くも人力をがいて能 から等妻収とやを働いただ に反する	思男多夫良個能妻働自働可 う女くも人力をがいて能 から等妻収とやを働いただ に反する
(1,197)	54.2	43.0	37.2	18.2	16.2	13.9
(1,321)	80.0	38.7	42.4	26.9	18.2	13.9
(556)	45.1	46.6	37.4	20.7	15.4	12.4
(557)	74.0	37.0	41.9	31.8	17.4	11.5
(30)	76.7	46.7	40.0	36.7	16.7	13.3
(58)	69.0	48.3	39.7	39.7	17.2	8.6
(267)	71.2	38.2	39.3	38.2	15.4	15.7
(32)	65.6	34.4	59.4	15.6	15.6	6.3
(26)	69.2	53.8	46.2	38.5	15.4	7.7
(73)	71.2	38.4	42.5	31.5	11.0	6.8
(121)	75.2	41.3	49.6	25.6	14.9	12.4
(29)	69.0	51.7	34.5	41.4	24.1	13.8
(24)	62.5	37.5	54.2	25.0	20.8	-
(76)	64.5	25.0	48.7	25.0	19.7	15.8
(642)	62.0	39.8	37.1	16.0	16.9	15.2
(764)	84.4	40.0	42.8	23.3	18.7	15.7
(40)	80.0	37.5	42.5	20.0	12.5	17.5
(67)	82.1	49.3	44.8	29.9	19.4	16.4
(335)	84.5	38.5	37.0	25.4	15.2	12.8
(47)	70.2	46.8	42.6	23.4	29.8	25.5
(44)	77.3	43.2	47.7	25.0	15.9	18.2
(96)	86.5	52.1	42.7	17.7	16.7	11.5
(162)	83.3	40.1	49.4	32.7	14.8	22.8
(54)	77.8	50.0	50.0	16.7	16.7	20.4
(23)	82.6	43.5	47.8	30.4	4.3	21.7
(128)	79.7	35.9	43.0	25.0	20.3	14.8

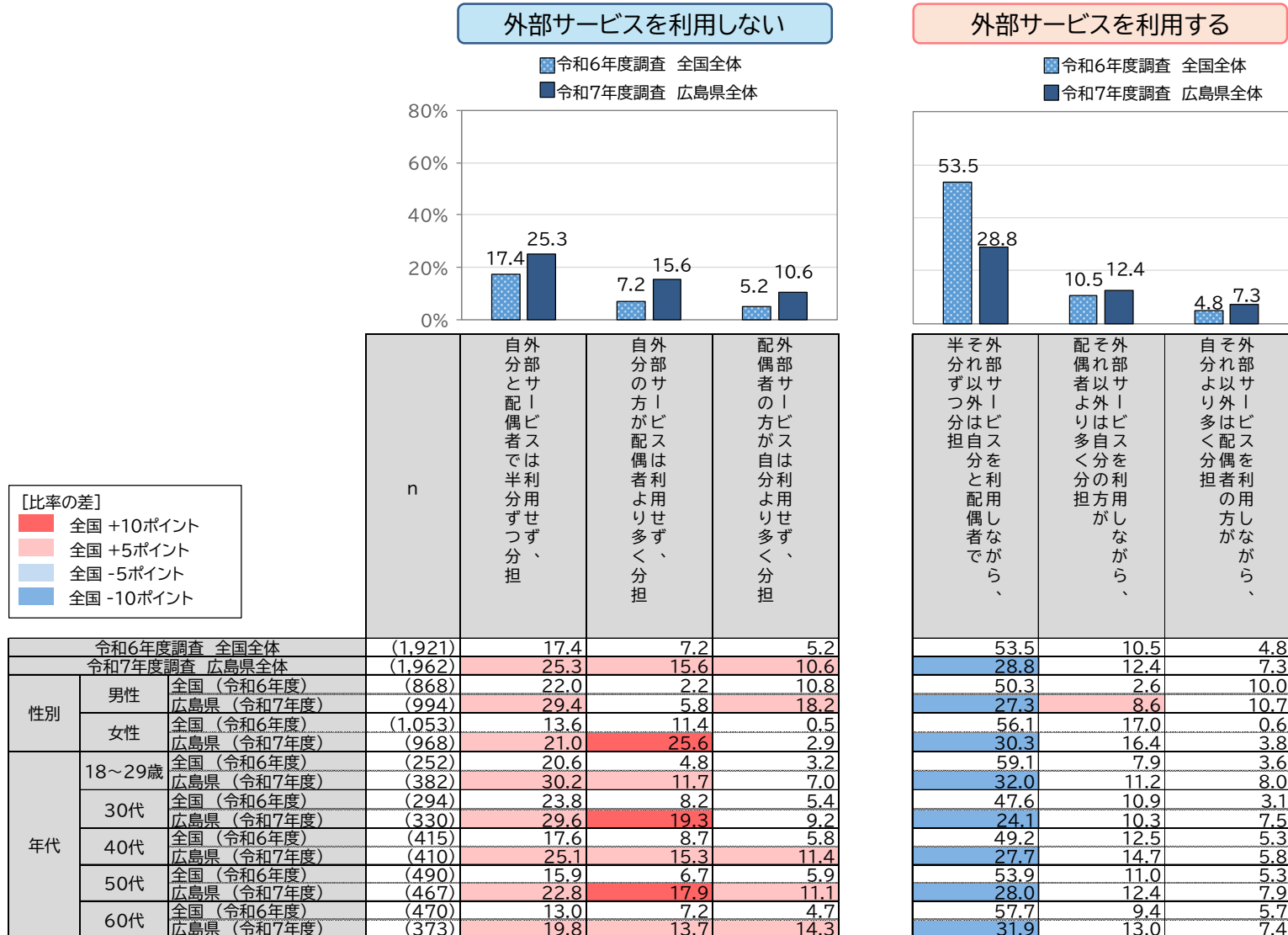
※エリア別×男性・女性については、18～70代以上を含めたデータ

※全国男性・女性全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値

※「令和7年度 広島県全体」のスコアで降順ソート

配偶者との役割分担(育児)【性別・年代別】

- 『外部サービスを利用しない』について、全ての年代は全国と比較して、「～自分と配偶者で半分ずつ分担」、「～自分の方が配偶者より多く分担」が高い。
- 『外部サービスを利用する』について、性別及び全ての年代は全国と比較して、「～それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担」が低い。



※全国全体・性別については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値
また、内閣府のデータでは無回答を集計しているため、合計しても100%にならない

配偶者との役割分担(育児)【性年代別】

- 『外部サービスを利用しない』について、男性×年代別でみると、特に18～29歳は全国と比較して、「～自分と配偶者で半分ずつ分担」が高い。一方、女性×年代別でみると、いずれの年代でも全国と比較して、「～自分の方が配偶者より多く分担」が高い。
- 『外部サービスを利用する』について、男性及び女性の全ての年代で全国と比較して、「～それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担」が低い。

			外部サービスを利用しない				外部サービスを利用する			
			n	外部サービスは利用せず、 自分と配偶者で半分ずつ分 担	外部サービスは利用せず、 自分の方が配偶者より多く分 担	外部サービスは利用せず、 配偶者の方が自分より多く分 担	外部サービスは利用しながら、 それ以外は自分と配偶者で 半分ずつ分担	外部サービスは利用しながら、 配偶者より多く分担	外部サービスは利用しながら、 それよりはるかに多く分担	
[比率の差]										
全国 +10ポイント										
全国 +5ポイント										
全国 -5ポイント										
全国 -10ポイント										
令和6年度調査 全国男性全体			(868)	22.0	2.2	10.8	50.3	2.6	10.0	
令和7年度調査 広島県男性全体			(994)	29.4	5.8	18.2	27.3	8.6	10.7	
男性 × 年代別	18～29歳	全国（令和6年度）	(114)	25.4	5.3	7.0	52.6	1.8	7.0	
		広島県（令和7年度）	(202)	35.8	6.5	8.6	31.1	10.0	7.9	
	30代	全国（令和6年度）	(120)	25.8	2.5	13.3	47.5	2.5	6.7	
		広島県（令和7年度）	(172)	31.8	8.5	14.8	27.8	7.4	9.7	
	40代	全国（令和6年度）	(182)	23.6	1.1	12.1	46.2	4.4	11.5	
		広島県（令和7年度）	(207)	27.6	7.6	20.0	25.7	10.5	8.6	
	50代	全国（令和6年度）	(233)	19.7	2.6	12.0	50.6	2.1	10.7	
		広島県（令和7年度）	(233)	28.1	3.8	20.9	26.8	6.8	13.6	
	60代	全国（令和6年度）	(219)	19.2	0.9	9.1	53.9	2.3	11.4	
		広島県（令和7年度）	(181)	23.9	2.7	26.6	25.0	8.2	13.6	
令和6年度調査 全国女性全体			(1,053)	13.6	11.4	0.5	56.1	17.0	0.6	
令和7年度調査 広島県女性全体			(968)	21.0	25.6	2.9	30.3	16.4	3.8	
女性 × 年代別	18～29歳	全国（令和6年度）	(138)	16.7	4.3	-	64.5	13.0	0.7	
		広島県（令和7年度）	(180)	23.9	17.4	5.3	33.0	12.4	8.0	
	30代	全国（令和6年度）	(174)	22.4	12.1	-	47.7	16.7	0.6	
		広島県（令和7年度）	(158)	27.1	31.0	3.2	20.0	13.5	5.2	
	40代	全国（令和6年度）	(233)	12.9	14.6	0.9	51.5	18.9	0.4	
		広島県（令和7年度）	(203)	22.6	23.1	2.5	29.6	19.1	3.0	
	50代	全国（令和6年度）	(257)	12.5	10.5	0.4	56.8	19.1	0.4	
		広島県（令和7年度）	(234)	17.5	31.9	1.3	29.3	17.9	2.2	
	60代	全国（令和6年度）	(251)	7.6	12.7	0.8	61.0	15.5	0.8	
		広島県（令和7年度）	(192)	16.0	23.9	2.7	38.3	17.6	1.6	

※全国全体・性別については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値
また、内閣府のデータでは無回答を集計しているため、合計しても100%にならない

配偶者との役割分担(育児)【エリア別】

- 『外部サービスを利用しない』についてエリア別でみると、広島県全体は全てのエリアと比較して、「～自分と配偶者で半分ずつ分担」が高い。特に、東北、関東、東海、四国、九州との差が大きい。
- 『外部サービスを利用する』についてエリア別でみると、広島県全体は全てのエリアと比較して、「～それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担」が低い。

		外部サービスを利用しない			外部サービスを利用する		
		n	自分と配偶者で半分ずつ分担	自分の方が配偶者より多く分担	配偶者が自分より多く分担	それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担	それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担
[比率の差]							
令和7年度調査 広島県全体+10ポイント							
令和7年度調査 広島県全体+5ポイント							
令和7年度調査 広島県全体-5ポイント							
令和7年度調査 広島県全体-10ポイント							
令和7年度調査 広島県全体		(1,962)	25.3	15.6	10.6	28.8	12.4
令和6年度調査 全国全体		(1,921)	17.4	7.2	5.2	53.5	10.5
エリア別	北海道	(126)	19.0	4.8	7.9	53.2	7.9
	東北	(184)	15.2	6.0	6.0	54.3	7.6
	関東	(900)	14.3	7.7	4.7	54.2	11.1
	北陸	(116)	18.1	6.9	3.4	57.8	8.6
	東山	(111)	18.0	8.1	8.1	53.2	3.6
	東海	(263)	13.3	7.2	7.2	54.4	12.2
	近畿	(442)	17.4	6.8	5.9	51.8	10.0
	中国	(156)	18.6	9.0	3.8	44.2	12.8
	四国	(75)	12.0	10.7	4.0	53.3	16.0
	九州	(300)	14.0	3.7	3.7	60.3	9.3

※エリア別については、18～70代以上を含めたデータ
 ※全国全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値
 また、内閣府のデータでは無回答を集計しているため、合計しても100%にならない

配偶者との役割分担(育児)【エリア×性別】

- 『外部サービスを利用しない』について、エリア別×男性でみると、広島県全体は全てのエリアと比較して、「～自分の方が配偶者より多く分担」で大きな差は見られない。また、エリア別×女性でみると、広島県全体は全てのエリアと比較して、「～自分の方が配偶者より多く分担」が高い。
- 『外部サービスを利用する』について、エリア別×男性及び女性でみると、広島県全体は全てのエリアと比較して、「～それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担」が低い。

外部サービスを利用しない

外部サービスを利用する

[比率の差]

- 令和7年度調査 広島県男性・女性全体+10ポイント
- 令和7年度調査 広島県男性・女性全体+5ポイント
- 令和7年度調査 広島県男性・女性全体-5ポイント
- 令和7年度調査 広島県男性・女性全体-10ポイント

		n	自分と配偶者で半分ずつ分担	自分の方が配偶者より多く分担	配偶者の方が自分より多く分担	半分ずつ分担は自分と配偶者で、それ以外は自分の方が多く分担しながら、	配偶者以外が自分より多く分担しながら、	自分より多く分担しながら、それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担
エリア別 × 男性	令和7年度調査 広島県男性全体	(994)	29.4	5.8	18.2	27.3	8.6	10.7
	令和6年度調査 全国男性全体	(868)	22.0	2.2	10.8	50.3	2.6	10.0
	北海道	(62)	27.4	1.6	12.9	46.8	1.6	6.5
	東北	(96)	19.8	4.2	10.4	50.0	1.0	9.4
	関東	(422)	16.8	0.9	9.5	53.8	4.3	10.7
	北陸	(52)	28.8	1.9	7.7	48.1	5.8	5.8
	東山	(46)	26.1	2.2	19.6	43.5	-	6.5
	東海	(119)	15.1	1.7	16.0	53.8	3.4	8.4
	近畿	(207)	23.2	2.4	12.1	46.9	2.4	8.7
	中国	(64)	23.4	6.3	7.8	40.6	3.1	12.5
	四国	(33)	18.2	3.0	9.1	54.5	6.1	9.1
	九州	(132)	17.4	1.5	8.3	53.0	3.0	11.4
	令和7年度調査 広島県女性全体	(968)	21.0	25.6	2.9	30.3	16.4	3.8
	令和6年度調査 全国女性全体	(1,053)	13.6	11.4	0.5	56.1	17.0	0.6
エリア別 × 女性	北海道	(64)	10.9	7.8	3.1	59.4	14.1	1.6
	東北	(88)	10.2	8.0	1.1	59.1	14.8	2.3
	関東	(478)	12.1	13.6	0.4	54.6	17.2	0.2
	北陸	(64)	9.4	10.9	-	65.6	10.9	1.6
	東山	(65)	12.3	12.3	-	60.0	6.2	1.5
	東海	(144)	11.8	11.8	-	54.9	19.4	0.7
	近畿	(235)	12.3	10.6	0.4	56.2	16.6	1.3
	中国	(92)	15.2	10.9	1.1	46.7	19.6	1.1
	四国	(42)	7.1	16.7	-	52.4	23.8	-
	九州	(168)	11.3	5.4	-	66.1	14.3	0.6

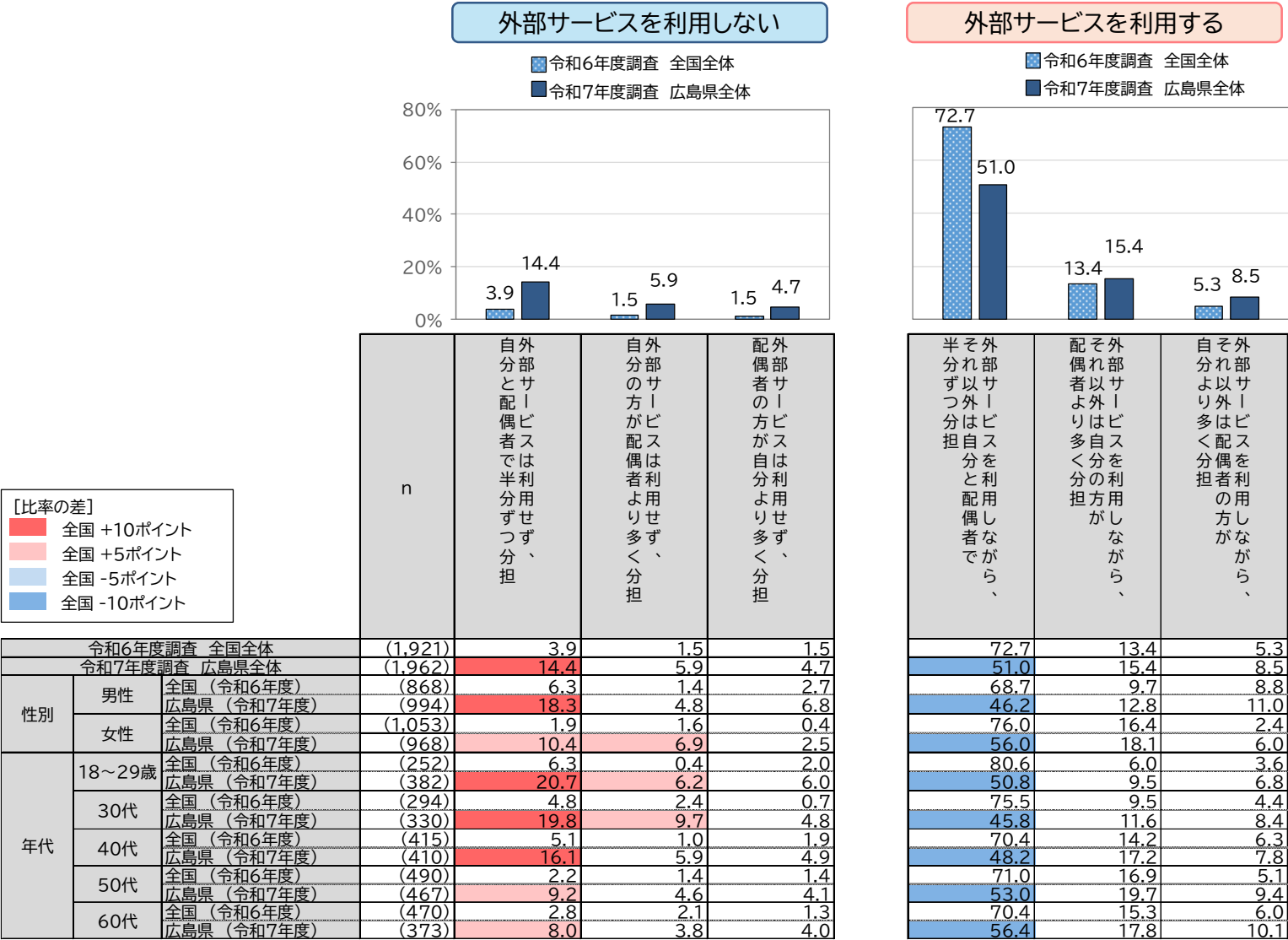
※エリア別×男性・女性については、18～70代以上を含めたデータ

※全国男性・女性全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値

また、内閣府のデータでは無回答を集計しているため、合計しても100%にならない

配偶者との役割分担(介護)【性年代別】

- 『外部サービスを利用しない』について、全ての年代は全国と比較して、「～自分と配偶者で半分ずつ分担」が高い。
- 『外部サービスを利用する』について、性別及び全ての年代は全国と比較して、「～それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担」が低い。



※全国全体・性別については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値
また、内閣府のデータでは無回答を集計しているため、合計しても100%にならない

配偶者との役割分担(介護)【性別・年代別】

- 『外部サービスを利用しない』について、男性×年代別でみると、いずれの年代でも全国と比較して、「～自分と配偶者で半分ずつ分担」が高い。特に、18～40代との差が大きい。一方、女性×年代別でみると、18～30代は全国と比較して、「～自分と配偶者で半分ずつ分担」で差が大きい。
- 『外部サービスを利用する』について、男性及び女性の全ての年代で全国と比較して、「～それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担」が低い。

外部サービスを利用しない

外部サービスを利用する

			n	外部サービスは利用せず、 自分と配偶者で半分ずつ分担	外部サービスは利用せず、 自分の方が配偶者より多く分担	外部サービスは利用せず、 配偶者の方が自分より多く分担	外部サービスを利用しながら、 それ以外は自分と配偶者で 半分ずつ分担	外部サービスを利用しながら、 それ以外は自分の方が 配偶者より多く分担	外部サービスを利用しながら、 それ以外は配偶者の方が 自分より多く分担
[比率の差]									
				全国 +10ポイント	全国 +5ポイント	全国 -5ポイント	全国 -10ポイント		
令和6年度調査 全国男性全体			(868)	6.3	1.4	2.7	68.7	9.7	8.8
令和7年度調査 広島県男性全体			(994)	18.3	4.8	6.8	46.2	12.8	11.0
年代	18～29歳	全国（令和6年度）	(114)	11.4	-	3.5	70.2	7.0	6.1
		広島県（令和7年度）	(202)	24.6	5.9	7.2	44.8	11.0	6.5
	30代	全国（令和6年度）	(120)	7.5	3.3	0.8	70.0	8.3	8.3
		広島県（令和7年度）	(172)	25.6	8.5	6.3	40.3	8.0	11.4
	40代	全国（令和6年度）	(182)	8.2	-	3.8	65.9	10.4	10.4
		広島県（令和7年度）	(207)	20.5	5.7	7.1	44.8	12.4	9.5
	50代	全国（令和6年度）	(233)	3.9	2.1	2.6	68.7	11.2	8.2
		広島県（令和7年度）	(233)	12.8	2.1	6.0	51.9	15.3	11.9
	60代	全国（令和6年度）	(219)	4.1	1.4	2.7	69.4	9.6	9.6
		広島県（令和7年度）	(181)	9.2	2.7	7.6	47.3	16.8	16.3
令和6年度調査 全国女性全体			(1,053)	1.9	1.6	0.4	76.0	16.4	2.4
令和7年度調査 広島県女性全体			(968)	10.4	6.9	2.5	56.0	18.1	6.0
年代	18～29歳	全国（令和6年度）	(138)	2.2	0.7	0.7	89.1	5.1	1.4
		広島県（令和7年度）	(180)	16.4	6.7	4.6	57.5	7.8	7.1
	30代	全国（令和6年度）	(174)	2.9	1.7	0.6	79.3	10.3	1.7
		広島県（令和7年度）	(158)	13.5	11.0	3.2	51.6	15.5	5.2
	40代	全国（令和6年度）	(233)	2.6	1.7	0.4	73.8	17.2	3.0
		広島県（令和7年度）	(203)	11.6	6.0	2.5	51.8	22.1	6.0
	50代	全国（令和6年度）	(257)	0.8	0.8	0.4	73.2	22.2	2.3
		広島県（令和7年度）	(234)	5.7	7.0	2.2	54.1	24.0	7.0
	60代	全国（令和6年度）	(251)	1.6	2.8	-	71.3	20.3	2.8
		広島県（令和7年度）	(192)	6.9	4.8	0.5	64.9	18.6	4.3

※全国全体・性別については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値
また、内閣府のデータでは無回答を集計しているため、合計しても100%にならない

配偶者との役割分担(介護)【エリア×性別】

- 『外部サービスを利用しない』について、エリア別×男性及び女性でみると、広島県全体は全てのエリアと比較して、「～自分の方が配偶者より多く分担」で最も差が大きい。
- 『外部サービスを利用する』について、エリア別×男性でみると、広島県全体は北陸以外のエリアと比較して、「～それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担」で差が大きい。また、エリア別×女性でみると、四国以外のエリアと比較して、「～それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担」の差が最も大きい。

外部サービスを利用しない

外部サービスを利用する

[比率の差]

- 令和7年度調査 広島県男性・女性全体+10ポイント
- 令和7年度調査 広島県男性・女性全体+5ポイント
- 令和7年度調査 広島県男性・女性全体-5ポイント
- 令和7年度調査 広島県男性・女性全体-10ポイント

	n	自分と配偶者は半分ずつ分担	自分の方が配偶者より多く負担	配偶者の方が自分より多く負担
令和7年度調査 広島県男性全体	(994)	18.3	4.8	6.8
令和6年度調査 全国男性全体	(868)	6.3	1.4	2.7
エリア別 × 男性				
北海道	(62)	8.1	3.2	4.8
東北	(96)	6.3	3.1	4.2
関東	(422)	2.8	0.9	2.1
北陸	(52)	11.5	1.9	3.8
東山	(46)	13.0	4.3	8.7
東海	(119)	10.9	0.8	2.5
近畿	(207)	4.8	2.4	1.4
中国	(64)	6.3	1.6	4.7
四国	(33)	3.0	-	-
九州	(132)	6.1	0.8	0.8
令和7年度調査 広島県女性全体	(968)	10.4	6.9	2.5
令和6年度調査 全国女性全体	(1,053)	1.9	1.6	0.4
エリア別 × 女性				
北海道	(64)	1.6	-	-
東北	(88)	3.4	-	-
関東	(478)	1.9	2.1	1.0
北陸	(64)	1.6	1.6	-
東山	(65)	1.5	3.1	-
東海	(144)	3.5	1.4	-
近畿	(235)	1.3	2.1	-
中国	(92)	4.3	4.3	-
四国	(42)	2.4	2.4	2.4
九州	(168)	1.2	3.0	-

半分ずつ分担は自分と配偶者で	配偶者以外に自分の方が	自分以外に配偶者の方が
46.2	12.8	11.0
68.7	9.7	8.8
66.1	6.5	4.8
68.8	6.3	8.3
72.3	10.0	8.5
50.0	23.1	5.8
58.7	6.5	6.5
64.7	10.1	8.4
70.0	7.2	8.7
68.8	4.7	9.4
72.7	18.2	6.1
68.9	10.6	6.8
56.0	18.1	6.0
76.0	16.4	2.4
73.4	18.8	1.6
67.0	21.6	3.4
73.6	17.4	1.7
76.6	14.1	4.7
84.6	4.6	1.5
75.0	18.1	0.7
73.2	17.9	4.7
71.7	16.3	-
61.9	28.6	2.4
77.4	14.3	1.2

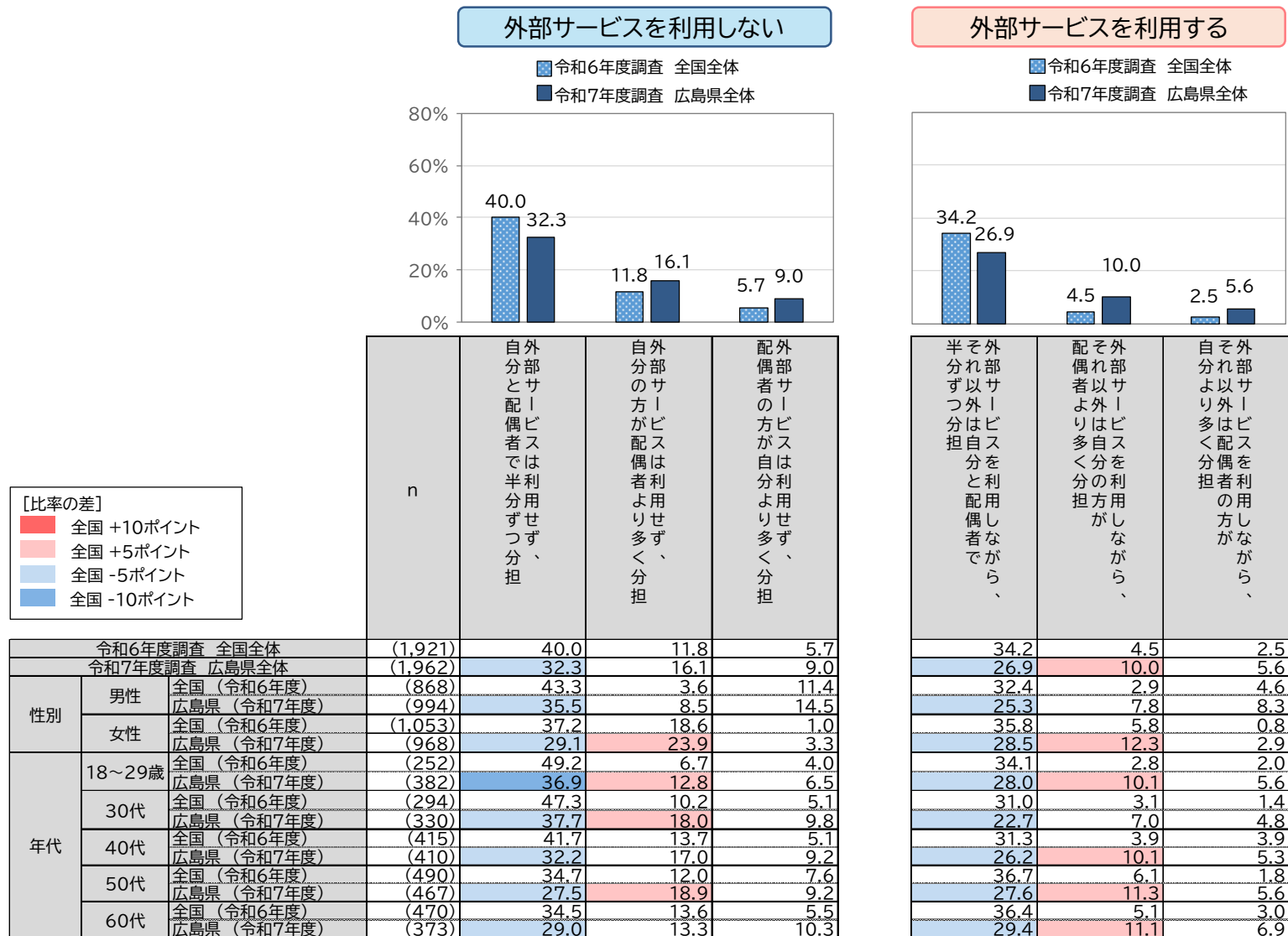
※エリア別については、18～70代以上を含めたデータ

※全国全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値

また、内閣府のデータでは無回答を集計しているため、合計しても100%にならない

配偶者との役割分担(育児・介護以外)【性別・年代別】

- 『外部サービスを利用しない』について、全ての年代は全国と比較して、「～自分と配偶者で半分ずつ分担」が高い。特に、18～29歳との差が大きい。
- 『外部サービスを利用する』について、性別及び全ての年代は全国と比較して、「～それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担」がやや低い。



※全国全体・性別については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値
また、内閣府のデータでは無回答を集計しているため、合計しても100%にならない

配偶者との役割分担(育児・介護以外)【エリア別】

- 『外部サービスを利用しない』についてエリア別でみると、広島県全体は北陸、中国と比較して、「～自分と配偶者で半分ずつ分担」で差が大きい。
- 『外部サービスを利用する』についてエリア別でみると、広島県全体は北陸、中国を除くエリアと比較して、「～それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担」が低い。また、全てのエリアと比較して、「～それ以外は配偶者の方が自分より多く分担」で大きな差は見られない。

		外部サービスを利用しない			外部サービスを利用する		
		n	自分と配偶者で半分ずつ分担	自分の方が配偶者より多く分担	配偶者の方が自分より多く分担	それ以外に自分と配偶者で半分ずつ分担	それ以外に配偶者の方が多く分担
[比率の差]							
令和7年度調査 広島県全体+10ポイント							
令和7年度調査 広島県全体+5ポイント							
令和7年度調査 広島県全体-5ポイント							
令和7年度調査 広島県全体-10ポイント							
令和7年度調査 広島県全体		(1,962)	32.3	16.1	9.0	26.9	10.0
令和6年度調査 全国全体		(1,921)	40.0	11.8	5.7	34.2	4.5
エリア	北海道	(126)	30.2	9.5	9.5	38.1	5.6
	東北	(184)	37.0	8.7	4.3	38.6	3.8
	関東	(900)	35.4	10.7	5.0	38.1	5.9
	北陸	(116)	42.2	12.9	6.9	25.0	8.6
	東山	(111)	35.1	14.4	6.3	35.1	2.7
	東海	(263)	35.0	14.1	8.7	37.3	2.7
	近畿	(442)	32.6	11.8	5.9	38.2	6.6
	中国	(156)	37.8	16.0	5.1	29.5	2.6
	四国	(75)	33.3	12.0	5.3	38.7	10.7
	九州	(300)	35.3	8.0	3.3	43.0	4.7

※エリア別については、18～70代以上を含めたデータ

※全国全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値

また、内閣府のデータでは無回答を集計しているため、合計しても100%にならない

配偶者との役割分担(育児・介護以外)【エリア×性別】

- 『外部サービスを利用しない』について、エリア別×男性でみると、広島県全体は北陸、四国と比較して、「～自分と配偶者で半分ずつ分担」が低い。また、エリア別×女性でみると、九州と比較して「～自分の方が配偶者より多く分担」が高い。
- 『外部サービスを利用する』について、エリア別×男性及び女性でみると、広島県全体は北陸、中国を除くエリアと比較して、「～それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担」が低い。

		外部サービスを利用しない			外部サービスを利用する		
		n	自分と配偶者で半分ずつ分担	自分の方が配偶者より多く分担	配偶者の方が自分より多く分担	自分と配偶者で半分ずつ分担	自分の方が配偶者より多く分担
[比率の差]							
令和7年度調査 広島県男性・女性全体+10ポイント							
令和7年度調査 広島県男性・女性全体+5ポイント							
令和7年度調査 広島県男性・女性全体-5ポイント							
令和7年度調査 広島県男性・女性全体-10ポイント							
エリア別 × 男性	令和7年度調査 広島県男性全体	(994)	35.5	8.5	14.5	25.3	7.8
	令和6年度調査 全国男性全体	(868)	43.3	3.6	11.4	32.4	2.9
	北海道	(62)	27.4	4.8	17.7	37.1	4.8
	東北	(96)	38.5	3.1	8.3	39.6	2.1
	関東	(422)	36.5	2.1	9.5	39.1	4.5
	北陸	(52)	50.0	3.8	13.5	23.1	5.8
	東山	(46)	37.0	8.7	13.0	32.6	2.2
	東海	(119)	38.7	3.4	17.6	33.6	3.4
	近畿	(207)	34.8	4.8	11.1	36.7	3.9
	中国	(64)	43.8	6.3	9.4	25.0	3.1
エリア別 × 女性	令和7年度調査 広島県女性全体	(968)	29.1	23.9	3.3	28.5	12.3
	令和6年度調査 全国女性全体	(1,053)	37.2	18.6	1.0	35.8	5.8
	北海道	(64)	32.8	14.1	1.6	39.1	6.3
	東北	(88)	35.2	14.8	-	37.5	5.7
	関東	(478)	34.5	18.2	1.0	37.2	7.1
	北陸	(64)	35.9	20.3	1.6	26.6	10.9
	東山	(65)	33.8	18.5	1.5	36.9	3.1
	東海	(144)	31.9	22.9	1.4	40.3	2.1
	近畿	(235)	30.6	17.9	1.3	39.6	8.9
	中国	(92)	33.7	22.8	2.2	32.6	2.2
エリア別 × 女性	四国	(42)	23.8	21.4	-	38.1	16.7
	九州	(168)	31.0	12.5	-	47.6	6.0

※エリア別については、18～70代以上を含めたデータ

※全国全体については、内閣府のデータを18～60代ベースで算出、割り戻して計算しているため概算値

また、内閣府のデータでは無回答を集計しているため、合計しても100%にならない